

令和七年度

里の名水・やまがた百選

山形県は、数多くの秀麗な山々、全国一の面積を誇る緑豊かなブナの天然林、母なる川最上川に代表される豊かな水、澄んだ空気など、美しい自然に恵まれ、山々の麓からは多種多様な湧水が数多く湧出しています。

県では、この多くの湧水の中から、地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、県内外に広く紹介していきます。

良好な水質と水量を有し、多くの人に親しまれ、また、豊かな自然景観を有するものとして、計82か所の湧水を選定しています。

湧水の保全活動に携わっている方からご応募いただき、外部有識者等で構成する選定委員会の意見を聴いたうえで、知事が選定しました。

1 応募の対象となる湧水等

県内にある湧水及び湧水を水源とする水域で、良好な水質と水量を有し、地域住民等による保全活動が行われているものを対象としています。

※ ただし、次に掲げる湧水等は応募の対象から除きます。

- (1) 全量が水道の水源として利用されているもの
- (2) 温泉の利用許可を受けているもの

2 応募できる方

応募対象となる湧水等の保全に携わる個人もしくは団体又は湧水等の所在する市町村としています。

このパンフレットの見方

- 名水の特徴をページの左上にアイコンで表示しています。



水質が良い
(ミネラルなどの成分がバランスよく含まれている)

※ 飲用を保証するものではありません



景観が良い



駐車場がある




水量が豊富である



アクセスが良い

※ 特に優れている部門には  マークが付いています。

※ 地図上の  マークは、名水ポイントです。

- ※ 「里の名水」は、自然環境の中に湧き出している水です。常に水質が管理されているものではなく、飲用について保証するものではありません。
- ※ このパンフレットは主に選定時の情報を掲載しています。周辺環境が変わっている場合もありますので、予め御承知ください。

- この「名水」は、湧水を守るため、地域住民による保全活動が行われています。皆様からも、ぜひ、御理解と御協力をお願いします。

村山地区

- 1 阿弥陀清水 (山形市)
- 2 風間御不動様の清水 (山形市)
- 3 熊野神社の手水舎 (山形市)
- 4 **御前清水** (山形市)
- 5 菅谷大聖不動明王の水 (山形市)
- 6 大坊清水 (山形市)
- 7 水方不動尊の水 (山形市)
- 8 庚申水 (寒河江市)
- 9 **剛清水** (寒河江市)
- 10 神明水 (寒河江市)
- 11 長命水 (寒河江市)
- 12 坊平のお清水 (上山市)
- 13 坊の水 (上山市)
- 14 いたや清水 (村山市)
- 15 清水衛殿 (村山市)
- 16 葉山ぶな清水 (村山市)
- 17 東漸寺の水・峰越しの瀧 (天童市)
- 18 **トスラの水** (天童市)
- 19 梅ヶ枝清水 (東根市)
- 20 黒伏観音水 (東根市)
- 21 長命水 (東根市)
- 22 御所の水 (尾花沢市)
- 23 櫛の木立長寿の水 (尾花沢市)
- 24 プナ源水 (尾花沢市)
- 25 山の神清水 (尾花沢市)
- 26 亀ノ子 (山辺町)
- 27 五番御神酒 (山辺町)
- 28 龍神水 (山辺町)
- 29 五本樋 (朝日町)
- 30 イカゴの清水 (大石田町)
- 31 次子こわ清水 (大石田町)
- 32 導者清水 (大石田町)

最上地区

- 33 太田の清水 (新庄市)
- 34 清水の清水 (新庄市)
- 35 中の森長命水 (金山町)
- 36 **切立泉の水** (最上町)
- 37 葉師様の水 (最上町)
- 38 清水穴湧水 (舟形町)
- 39 大清水 (真室川町)
- 40 差首鍋のすず水 (真室川町)
- 41 升玉の清水 (大蔵村)
- 42 上大淵小助の清水 (鮭川村)
- 43 湯治の清水 (鮭川村)
- 44 庭月観音清水 (鮭川村)
- 45 米清水 (鮭川村)

置賜地区

- 46 慶次清水 (米沢市)
- 47 滝の清水 (米沢市)
- 48 館清水 (米沢市)
- 49 澄心の泉 (米沢市)
- 50 三階滝 (長井市)
- 51 白鷹山・知恵の水 (南陽市)
- 52 白鷹山・若返りの水 (南陽市)
- 53 岩清水 (高畠町)
- 54 知恵の水 (利根水) (高畠町)
- 55 プナしずく (小国町)
- 56 清浄水 (飯豊町)

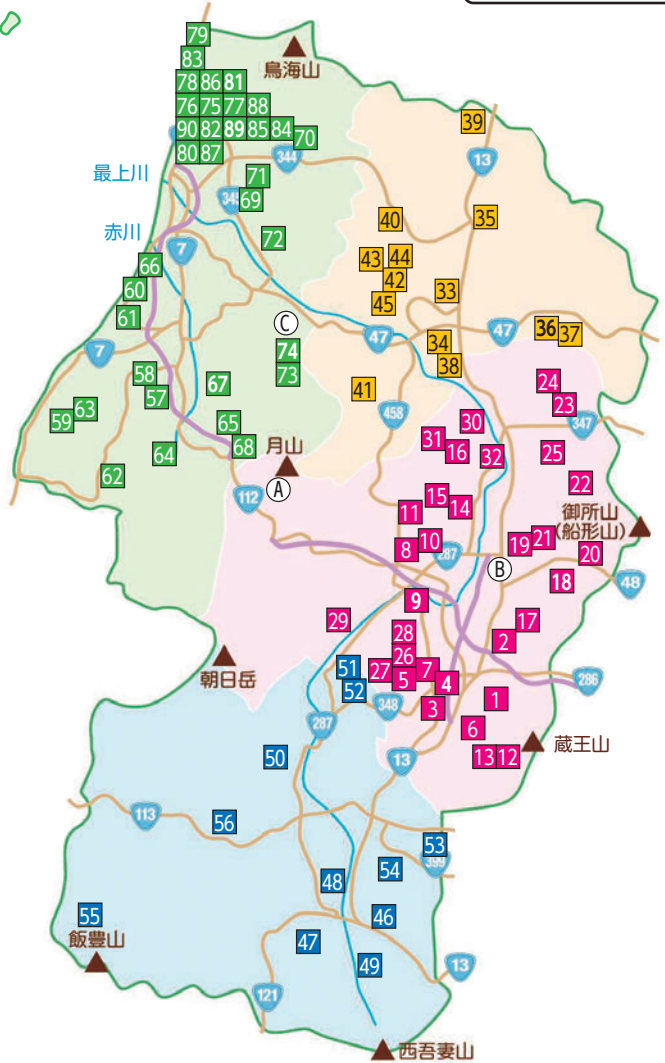
庄内地区

- 57 闊伽井の清水 (鶴岡市)
- 58 岩清水 (鶴岡市)
- 59 大清水 (鶴岡市)
- 60 ガツキの清水 (鶴岡市)
- 61 加茂 お不動様の清水 (鶴岡市)
- 62 郷清水 (鶴岡市)
- 63 古和清水 (鶴岡市)
- 64 地蔵清水 (鶴岡市)
- 65 重郎右衛門清水 (鶴岡市)
- 66 七窪地蔵清水 (鶴岡市)
- 67 **ふるさとの水 宝谷** (鶴岡市)
- 68 柳清水 (鶴岡市)
- 69 鷹清水 (鶴岡市)
- 70 御嶽神社の清水 (酒田市)
- 71 湯ノ澤豊泉 (酒田市)
- 72 瑠璃の水 (酒田市)
- 73 市郎右衛門新田湧水 (庄内町)

- 74 熊谷神社 御籠様 (庄内町)
- 75 牛渡川 (荒川地区) (遊佐町)
- 76 大清水 (遊佐町)
- 77 落伏清水 (遊佐町)
- 78 釜磯海岸 (遊佐町)
- 79 神泉の水 (遊佐町)
- 80 光月堂の水 (遊佐町)
- 81 **山居の水** (遊佐町)
- 82 深山神社 (遊佐町)
- 83 滝の水 (遊佐町)
- 84 鳥海三神の水 (遊佐町)
- 85 胴腹滝 (遊佐町)
- 86 丸池様 (遊佐町)
- 87 丸勝の水 (遊佐町)
- 88 山ノ神の水 (遊佐町)
- 89 **遊佐小学校の湧水** (遊佐町)
- 90 わだやの水 (遊佐町)

目次

※太字:令和7年度選定



環境省選定

- 91 (A) 月山山麓湧水群 (西川町)
- (B) 小見川 (東根市)
- (C) 立谷沢川 (庄内町)

92 関連情報

選定箇所数				
村山	最上	置賜	庄内	合計
32	13	11	34	90



あみだすず 阿弥陀清水

～令和元年度選定～ Googleマップ

山形市大字土坂



〔管理者・保全団体〕土坂町内会

ポイント

山形市の東方、県庁から蔵王高原ラインを蔵王に向かう途中、土坂公民館の脇、柵に囲まれた奥にある。傍らに祀られた阿弥陀仏から「阿弥陀清水」と呼ばれている。昭和61年に県道が整備された際に県道の下となり、このような形で保存されることになったが奥まった暗がりでは、整然と並ぶ玉砂利敷きの隙間からこんこんと水が湧き出ている。下流の堰には、梅花藻が繁茂し、初夏から晩秋にかけて水中に白い可憐な花を咲かせる。

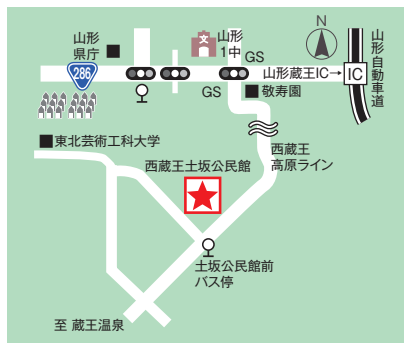
昔、瀧山詣が盛んな頃（かつてこの地が「草矢倉村」という名前の村だった頃）から、ここを通る旅人が、この清水でのどを潤し一休みしたといわれる。現在も多くの人がこの水を求めて訪れる。



アクセス

 (北緯38.207056°、東経140.369167°)

国道286号線から県道167号線（蔵王高原ライン）へ入り、蔵王温泉方面に約10分、7kmほど進む。土坂公民館前バス停が見えたら、T字路を右折すると、すぐ右手に土坂公民館があり、湧水は土坂公民館の奥にある。公民館前に駐車は可能である。



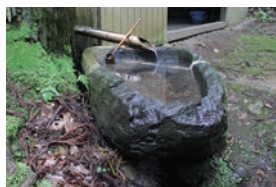


〔管理者・保全団体〕 風間町内会

ポイント

山形市の北東部、大岡山の麓にある「風間の御不動様」に湧き、登山者の水場としても知られる。古くから近隣の信仰を集め、湧水を利用する神事「湯立」では、沸かした聖水を笹の葉で参詣者に振りかけ災厄を祓うほか、その年の吉兆を占う「神降し」も執り行われていた。

社の裏手には俱利伽羅大聖不動明王が祀られている。不動明王が祀られた時期はわからないが、境内には社の普請勧進をした三郎衛の墓に、宝暦七年（1757年）の記があり、250年以上の歴史がある。また、近隣には、東北三十六不動尊霊場第四番札所である、古刹の大樹院がある。



アクセス (北緯38.289929°、東経140.373434°)

国道13号大野目交差点から県道19号通称山寺街道を670m程進むとT字路がある。そこを右折すると大岡山登山道の案内看板がある。さらに400m程進み、左手の山際に続く農道に左折すると大岡山南登山道入口に着き、徒歩で5分程度登ると御不動様がある。





くまのじんじゃ ちょうずや
熊野神社の手水舎

～令和6年度選定～ Googleマップ

山形市大字津金沢

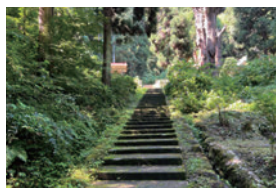


〔管理者・保全団体〕 津金沢自治会

ポイント

神社境内には手水舎が設けられており、その手水に利用されている湧水である。この神社は「オクマンサマ」と呼ばれ周辺集落の鎮守として崇敬されており、境内には樹齢1000年の大杉がそびえ立つ。地区の重要なシンボルとなっているこの大杉は、山形県の天然記念物に指定されており見事な景観を形成している。

津金沢地区からは蔵王山系が一望でき、四季の景色を楽しむことができる。石鳥居をくぐり境内までの参道には、アジサイが植栽され6～7月頃には参拝者の目を楽しませる。



熊野神社の参道



津金沢の大杉

アクセス (北緯38.202443°、東経140.290051°)

JR蔵王駅から西へ約1km進むと津金沢地区に入る。地区内の「県指定天然記念物・津金沢の大杉」の看板に従って進み、狭い進入路を通ると熊野神社の駐車場に到着する。正面の石鳥居をくぐり、石段の参道を100mほど上ると境内右手に本堂があり、その手前に手水舎がある。





〔管理者〕山形市 〔保全団体〕長谷堂城跡公園管理協力会

ポイント

山形市の南西部にある城山(長谷堂城跡)の麓に湧く「御前清水」は、歴代城主が飲用したことから「殿様井戸」と呼ばれ、古くから大切に守られてきた。1600年(慶長5年)の北の関ヶ原「長谷堂合戦」の折、山形城を戦火から守り抜いたときにもこの水が給されたといわれている。

「御前清水」のある長谷堂城跡公園は、春は桜やシャガ、秋はヒガンバナなどが美しく咲き誇る花の名所であり、かつて最上軍と上杉軍が激戦を繰り広げた「長谷堂合戦」や山城の遺構も数多く残っており、四季を通じて県内外から観光客が訪れる。



長谷堂城跡入口(御前清水口)



長谷堂城跡公園のヒガンバナ

アクセス

 (北緯38.214037°、東経140.271898°)

山形市街地から国道348号線を白鷹町方面に向かう。国道458号線との交差点から600m程進み、「西向」の看板から左折し突き当たりT字路を右折。100m先、左手に「長谷堂城跡公園」がある。「御前清水」は、園内の登山口「長谷堂城跡入口(御前清水口)」の標柱(右上写真)の奥にある。公園脇に数台分の駐車場がある。





〔管理者〕 高野善和 〔保全団体〕 高野善和ほか

ポイント

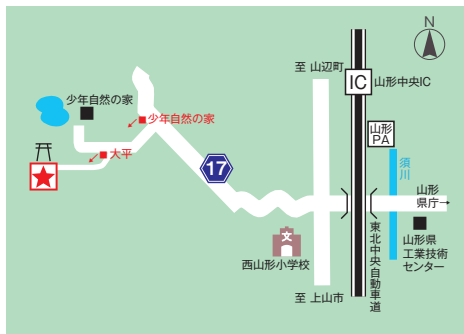
山形市西部、県民の森の山際にある不動尊の傍らでは川のせせらぎが響き、清涼感のある水が勢いよく湧き出ている。この水は、眼病を治す御利益があると伝えられている。5月13日の「白鷹山虚空蔵尊祭礼」の日には、旗を揚げてにぎやかに祭りが行われる。

菅谷大聖不動明王は、新潟県新発田市にある菅谷不動尊から分祀され、明治31年頃に建立されたとの由来がある。また、近くを古い街道（＝狐越街道（慶長5年（1600年）の「東北の関ヶ原・慶長出羽合戦」にまつわる歴史的な街道））が通っており、少し行けば「長谷堂城址」、「畑谷城址」などの史跡を見ることができる。



アクセス （北緯38.229750°、東経140.204833°）

山形市街地から県道17号線で県民の森方面を目指す。山道の途中、「山形市・少年自然の家」の案内標識のあるY字路を左折し、500mほど進むと「大平3km」の標識が見えてくる。そこを左折して1kmほど直進すると右側斜面に湧水がある。





〔管理者・保全団体〕半郷共有財産組合

ポイント

大坊清水は、山形市蔵王上野地内にある清涼感漂う湧水池である。周囲は緑豊かな杉林に囲まれ、湧水池の上手には水神様が祀られており、毎年5月には水神祭が執り行われている。また、周辺からは甕などの縄文土器が数多く発見され、縄文時代から湧水と共に人々が暮らしていたことがうかがえる。古来より親しまれてきたこの水は、正に「いにしへの湧き水」である。

慈覚大師円仁によって龍山信仰が盛んになり、平安時代の西暦867年、瀧山三百坊の一つとして上野大坊院が開基される。その付近にあった湧水池が大坊清水であり、そこに宿坊として僧兵たちが住む宗教集落ができたとされている。



湧水石碑

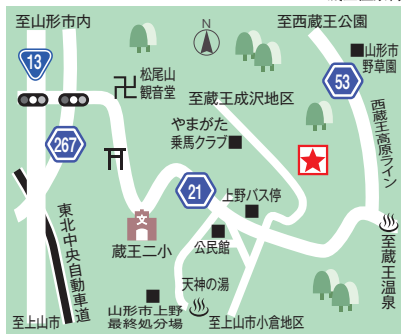


蔵王温泉街

アクセス

(北緯 38.174569°、東経 140.342773°)

国道13号線から県道21号蔵王公園線を蔵王温泉方面に4.5km程進む。蔵王上野地区にある十字路を左折して農免道路上野成沢線に入り、300m程進むと到着。





みずかた ふ どうそん みず 水方不動尊の水

山形市大字柏倉



〔管理者〕黒田 清和 〔保全団体〕お不動様の緑日を保存する会

ポイント

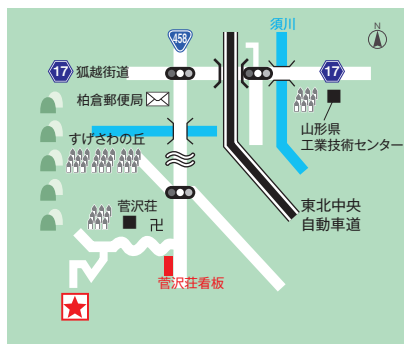
山形市の西部、大森山の麓にある湧水。付近には住宅団地があるが、山に一步踏み入るだけで深山幽谷の社の趣きが感じられる。江戸時代から信仰を集めた不動尊は、特に眼病平癒に御利益があるとされており、初夏にはホタルも見られ豊かな自然に囲まれている。不動尊まで行く旧参道には、鳥居があり姥神様が祀られている。

文政十二年（1829年）堀田藩山形分領、柏倉陣屋の御典医中村文哉が、同家に伝わる不動明王像を遷座し、村民の病気平癒を願ったのが始まりである。その後、近隣村々の諸願成就の信仰を集めるようになった。



アクセス （北緯38.220335°、東経140.263969°）

県道17号を西に進み、国道458号との交差点を左折し南進する。「菅沢荘」の看板があるT字路を右折し、道なりに600m程進み、T字路を左折する。貯水池脇のT字路付近に駐車し徒歩で100m程進むと水方不動尊がある。





〔管理者・保全体〕 前田代上水道組合

ポイント

寒河江市白岩から北に県道を進むと、田園の中、道路わきのコンクリートの側面から勢いよく水が出ている。「銘水 庚申水」の看板から、その水が湧きだるとわかる。この水源は、この地から5km程離れた霊峰葉山の麓にあり、そこから引き込んで、昭和44年に作られた。遠方からも水を汲みに来る人々も多い。

この水場の脇に立つ石碑「庚申碑」は、田代集落の入り口と奥にあったものを移設したもので、寛政十二年庚申の文字が刻まれている。道祖神、塞ノ神の役割を持ち、村の出入りに配置し祀ることで、福の漏出を防ぎ、災いの侵入を防ぐ役割がある。



アクセス (北緯38.454778°、東経140.225000°)

国道112号線を寒河江から鶴岡方面に進み、バイパスから白岩方面の旧道に入る。臥竜橋を渡り、500mほど進んで田代方面へのT字路を右折する。県道286号線を5kmほど道なりに進むと田代集落に到着する。集落入口のY字路を左方向に進み、950m程先の道沿い左側に庚申水がある。





〔管理者・保全体〕 剛清水不動尊 別当 柴田新二

ポイント

県営野球場から大江町方面に約4km、国道458号線沿いの山林の中に「剛清水」はある。剛清水不動尊が祀られている樹齢300年以上の2本の古木の根元から枯れることなく静かに湧き出ている。

明治26年に眼病快癒祈願のために、豊田村（現中山町）から不動尊を譲り受け、古来より枯れたことのない湧水のあるこの場所に奉納安置し祀ったところ、快方に向かったことから、近隣の人々から眼病に効く霊水として尊ばれている。

「剛清水」は、昭和15年頃までは鮭の孵化や養殖に活用されていたが、現在は地域の防火用水などに利用されている。



湧出口



剛清水不動尊の鳥居

アクセス

(北緯38.365012°、東経140.237699°)

国道458号線を中山町の県営野球場から大江町方面に3.8km程進み、県道143号線と交差する山際に剛清水不動尊の赤い鳥居がある。その鳥居をくぐると湧水の小池がある。国道沿いにあるため駐車場はない。





〔管理者・保全団体〕 田代行沢水道組合

ポイント

寒河江方面から霊峰葉山へ向かう道の途中、田代地区の山神社境内に、大きな石の水受けがあり、水音とともに水が勢よく流れ出ている。神社境内に水が湧き出ることから、「神明水」と呼ばれるようになった。夏でも枯れることがなく、神社参拝の清めの水（手水）として利用されている。

この地は、かつて葉山信仰の中心であった天台宗大円院（今は現存せず）への登り口の古い街道沿いにある。近くには、田代地区を一望できる「天下森散策コース」や、学びの里「TASSHŌ」があり、湧水とともに、自然体験を楽しむことができる。



アクセス (北緯38.450333°、東経140.236667°)

寒河江市内、国道112号線を鶴岡に向かい、バイパスから白岩方面の旧道に入る。臥竜橋を渡って500m程進み田代方面へ右折し、県道286号線を5km程道なりに進むと田代集落がある。集落入口のY字路を右方向、500m程で学びの里「TASSHŌ」があり、さらに300m程で神明水がある山神社に着く。





ちょうめいすい 長命水

～平成27年度選定～ Googleマップ

寒河江市大字白岩2383地内



〔管理者〕寒河江市 〔保全団体〕寒河江市指定管理者

ポイント

寒河江市白岩から北に入った「葉山市民荘」の入り口に「長命水」の標識とともに、5つの出口から冷たく清浄な水が勢い良く出ている。水源は葉山を源とする湧水で、登山道を上り、旧キャンプ場のところに湧いている水を引いている。

周囲は広葉樹の中にまばらに民家・別荘がある。標高は750mほどで、葉山の中腹にあり四季ごとに美しさがある。



アクセス

(北緯38.499417°、東経140.223917°)

寒河江市白岩の白岩郵便局の東から県道286号線を北に入り、実沢川沿いに4kmほど上ると、前田代地区の手前にY字路があり、「葉山市民荘入口」の看板がある。

そこを左折して清水山地区を通過して8.5kmほど進むと、左側に葉山市民荘があり、その入口付近に「長命水」がある。

道路は舗装してあるが狭いので、対向車等に注意が必要である。

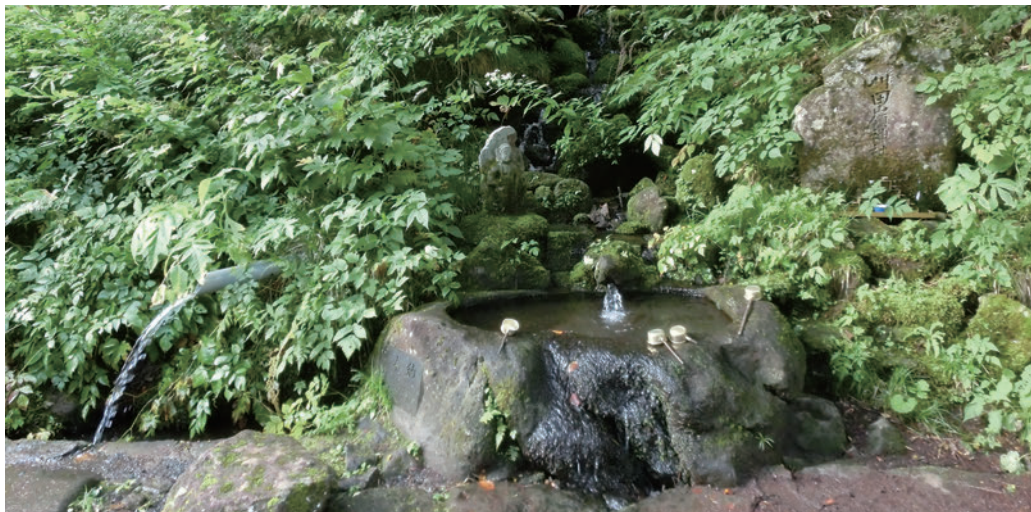
なお、「葉山市民荘」は毎年10月中旬から5月上旬まで閉鎖している。





ぼうだいら しず 坊平のお清水

上山市蔵王坊平高原



〔管理者〕 蔵王坊平観光協議会 〔保全団体〕 上山市山岳会

ポイント

蔵王エコーラインを上り刈田岳の途中にある坊平蔵王ライザスキー場の、「お清水の森」の中にある。この森は標高1,100mでは珍しい杉の大木とブナ林からなり、湧水は森の中から湧き出しており、貯水槽にためられた後にパイプで石の手水鉢へと導かれている。これまでに枯れたことはなく、湧出量は季節によって変動する。

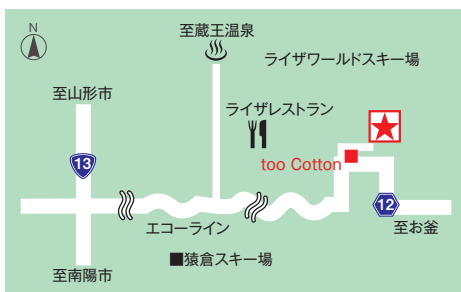
周囲は「クアオルト健康ウォーキングコース」にもなっていて、スポーツをして東屋で水音を楽しみながら休息できる。また、森を下りゲレンデに出ると上山、山形南部、遠くは朝日連峰までの眺望がみられ、レストランでくつろぐこともできる。



アクセス (北緯38.125083°、東経140.409444°)

上山市から蔵王エコーラインを上り、猿倉スキー場の横を過ぎ、蔵王ライザワールドスキー場に着く。スキー場入口付近から更に500mほど進むと、カーブの手前に「too Cotton」の標識がある。そこに駐車し、ゲレンデを抜け森の方に徒歩で100mほど進む。

仙人沢・中丸山の標識の下に「お清水の森」の表示があり、そこから徒歩で200mほど山道を上ると「坊平のお清水」に到着する。





〔管理者〕上山市 〔保全団体〕蔵王坊平観光協議会

ポイント

蔵王坊平高原は、昔から山岳信仰・山岳観光が盛んである。また、クアオルト認定コースや、数多くのウォーキングコースもあり、新緑や紅葉の中、大自然を楽しみながら歩くことができる。斎藤茂吉が、眼下に広がる絶景を眺めて読んだ詩も有名である。

坊の水は、「蔵王坊平アスリートヴィレッジ」のクロスカントリーコース内から湧き出ており、蔵王の雪解け水が浸透した水は、非常に冷たく枯れることがない。ここから出ている水は、観光客やアスリート、キャンプをしている人達から利用されており、憩いの場として親しまれ人々に潤いや癒しを与えている。



クロスカントリーコース



蔵王坊平国設野営場

アクセス

 (北緯 38.124499°、東経 140.396127°)

蔵王エコーラインを御釜方面に進む。蔵王坊平高原入口の案内板から左折し、T字路をペンション村方面に進む。300m程進むと蔵王坊平国設野営場入口手前に駐車場がある。駐車場奥から小道に入り、クロスカントリーコースに抜け、左手に進むと水場の入口がある。

※水が出にくい状態が続いています。(令和7年10月現在)





いたや清水

村山市大字樽石字垂水716-2（樽石大学地内）



〔管理者・保全団体〕 樽石大学

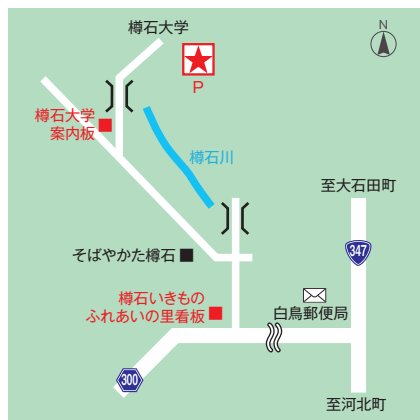
ポイント

村山市の樽石地区から1kmほど上った樽石川の上流部にあり、生涯学習施設として市民の手で作られた「樽石大学」の駐車場の入り口にある。ステンレスの流し台には6つの蛇口があり清浄な水が豊富に出ている。車を近くまで寄せられるので水が汲みやすい。また、名水としての知名度が高いため、多くの人々が季節を問わずひっきりなしに訪れている。この水は1.2kmほど上流の二ノ沢付近の湧水をここに引いてきている。



アクセス （北緯38.507472°、東経140.295556°）

村山市西側、国道347号線の白鳥郵便局の南から県道300号線を2kmほど西進し、右側の「樽石いきものふれあいの里」の看板から右折する。「そばやかた樽石」の前を通り、樽石地区を抜け樽石川上流に向かって2kmほど進む。「樽石大学」の看板を右に下り、橋を渡ると大学の建屋と駐車場手前に「いたや清水」がある。

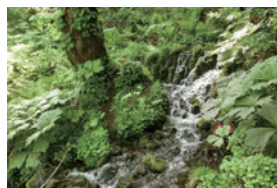




〔管理者〕戸沢地域市民センター 〔保全団体〕樽石いきものふれあいの里の会

ポイント

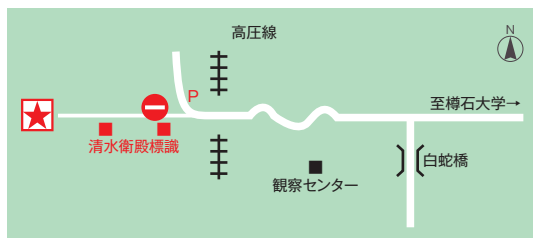
村山市の樽石川の最上流部にあり、ブナ原生林の山の中腹から多量の伏流水が湧出しており、苔むした岩の間を流れている。標高は620mほどで周囲はブナ林、杉林に囲まれ、湧出した水の流れる先には石積みのワサビ田の跡がある。40～50年前、清冽な水を使いワサビの育成に取り組んだが、カモシカの食害のために断念した。今ではその石積みも苔が張り自然に溶け込み、自然の中の幻想的な湧水である。標識が整備され散策ルートになっている。



アクセス

(北緯38.520111°、東経140.249194°)

いたや清水のある樽石大学に向かう直前の交差点を直進し、樽石川上流方向に2kmほど進むと、「白蛇橋の由来」の表示のある橋があるが、これを渡らずに右に直進して更に1.5kmほど進むと「観察センター」がある。そこから更に1kmほど道なりに進むと、急に道が右に曲がり川から離れるところがある。そこに車を停めて、「ブナ林コース終点」の標識から杉林の登り道を約500m(約25分)上り、突きあたると「清水衛殿」に到着する。散策道途中で標識がある。水場周辺は足元に注意が必要。





はやま しみず 葉山ぶな清水

村山市大字山の内



〔管理者〕山の内大鳥居部落 〔保全団体〕ブナ清水保存会

ポイント

葉山ぶな清水は、山の内大鳥居地区にあり、霊峰葉山の中腹から湧き出た水を導水し、地域の住民やこの地を訪れた人々に親しまれている。水場付近では、趣のある水車がゆっくりと回り、四季折々の魅力的な風景に溶け込んでいる。昔は元気水・薬水として崇められ、この水を求めて葉山に向かったとされている。また、この地区は「葉山奥の院」の大鳥居を建立したことからその名があり、参詣のための宿坊村として繁盛した。



水場脇の水車

アクセス (北緯 38.563773°、東経 140.291918°)

東北中央自動車道の村山本飯田ICから県道36号線を北西方面に9kmほど進むと、山の内大鳥居地区に到着する。集落の入口には、「霊山・葉山登山口」の看板があり、そこから集落内に入ると葉山ぶな清水がある。



「霊山・葉山登山口」の看板





とうぜんじ みず 東漸寺の水

～令和元年度選定～ Googleマップ

天童市大字貫津



〔管理者〕上貫津町内会〔保全団体〕津山の自然を守る会

ポイント

天童市貫津^{あめよばりやま}、雨呼山の裾野にある「じゃがらむら」から林道を約1km登ると、木々の緑に囲まれた池がある。岩の隙間から湧く水の量は多く、澄んだ水面を揺らして湧く様からは、躍動感が伝わってくる。この湧水は、昔から名水とされ、雨呼山は、この地の稲作に不可欠な水をもたらす山として、信仰されてきた。

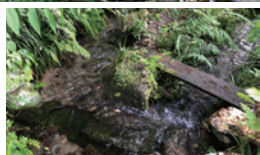
近くには、平安期の寺院「東漸寺」の名残の宝塔（天童市指定有形文化財）があり、当時の面影を残す。また、夏でも冷風が出る風穴「ジャガラモガラ」、やまがた百名山の「雨呼山」の散策を楽しむことができる。



みねご たき 峰越しの瀧

～令和2年度選定～ Googleマップ

天童市大字奈良沢



〔管理者・保全団体〕奈良沢町内会

ポイント

天童市奈良沢地区の林の中に、天童の三不動尊の一つ、剣瀧山不動尊がある。その不動尊に豊富に流れ落ちる滝が「峰越しの瀧」であり、訪れた人々の気持ちを癒してくれる空間となっている。滝は「東漸寺の水」を水源としている。

江戸初期、水田を開拓するために「東善寺堰」が造られたが、元禄2年に奈良沢と貫津で水争いが起こり、協議の末、奈良沢に8分2厘、貫津に1分8厘の水を流すことで和解した。現在も「分水石」により、その割合で堰から流れている。その堰の水が不動尊堂の裏山の峰を越えて瀧となって流れ落ちることから「峰越しの瀧」という名がついた。

アクセス

東漸寺の水（北緯38.345331°、東経140.420685°）

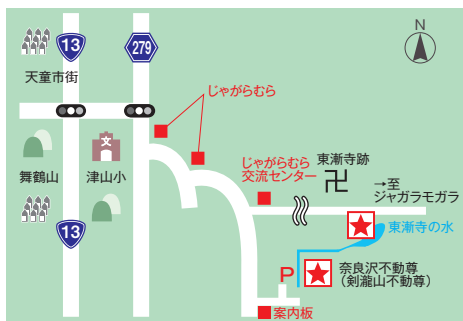
峰越しの瀧（北緯38.342662°、東経140.414958°）

津山小学校前の信号から南に進む。100m程進むと「じゃがらむら」の標識があるので、「交流センター」を目指す。

交流センター脇の林道を約1km上った右側の所にあるのが東漸寺の水である。

交流センターから400m程南へ進み、奈良沢不動尊の看板から左折し、さらに1km程進むと不動尊入口に着く。

※堰の破損により、滝まで水が来ない状態が続いています。（令和7年10月現在）





みず トズラの水

天童市大字田麦野



〔管理者・保全団体〕 山口・田麦野土地改良区

ポイント

天童市東部の田麦野地区の棚田のほりから湧く「トズラの水」は大雨が降っても濁らず、水温、水量も一定で、水道が整備される前は地区の飲料水や生活用水として利用されていた。現在は水田に利用され、農業を支える重要な水となっている。

周囲には「やまがた棚田20選」に指定された棚田が広がり、春は棚田の水鏡、夏は湧水周辺を飛び交うホタルの群れ、秋は黄金色の棚田と白いそばの花、稲刈り後の杭掛けなど、懐かしい里山の景観がある。また、旧田麦野小学校の校舎を活用した「高原の里交流施設ほんぼこ」では、自然や農業を体験できる「ほんぼこ塾」を定期的に開催している。



湧水地点への目印標柱、石碑



高原の里交流施設ほんぼこ

アクセス

(北緯 38.358480°、東経 140.469957°)

国道13号線から国道48号線を仙台方面に2km程進み、ガソリンスタンドとコンビニエンスストアの信号を右折し、県道281号線を6.5km程進むと右手に「高原の里交流施設ほんぼこ」がある。

さらに1km進み、「ノンギャ(野際)」標柱と「ようこそほんぼこむらへ」の石碑から右折し、300mほど進むと左手に湧水が出ているパイプがある。





うめが えし みず 梅ヶ枝清水

～令和6年度選定～ Googleマップ

東根市本丸東



〔管理者・保全団体〕 横尾千代乃

ポイント

旧城下町の面影を残す「古豪の郷」と呼ばれる地区の一角に郷土料理店「梅ヶ枝清水」があり、蔵屋敷の庭園にある池から静かに湧いている。庭園を臨む蔵座敷では、東根市に古くから伝わる田舎料理を満ち足りた気分で味わえる。

第八代東根城主の弟、「東根広台」が近くの山に鷹巢があると聞き、家来と供に取りに行ったが、誤って岩場から落ちて亡くなった。奥方である「梅ヶ枝」は、悲しみの余り泉に身を投げて後を追ったとされる。その泉を「梅ヶ枝清水」というようになり、地域では「めがすず」と呼んでいる。



梅ヶ枝清水入口



郷土料理

アクセス (北緯 38.443041°、東経 140.405762°)

東根市役所から北東方面に1kmほど進み、白水川を渡り県道29号尾花沢関山線から本丸東地区に向かう。「東の杜」方面に進むと、所々に「梅ヶ枝清水」の案内看板がある。店舗入口付近には駐車場の看板もあり、広い駐車スペースがある。





くろぶしかんのんすい

黒伏観音水

～令和3年度選定～ Googleマップ

東根市大字観音寺

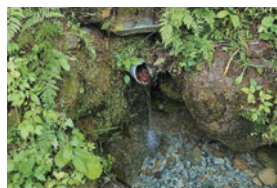


〔管理者・保全体〕観音寺生産森林組合

ポイント

黒伏高原へ向かう山間の麓に、冷涼感のある水が湧き出ている。この水場には、水神が祀られており、道路が整備されていない時代は、集落から山仕事に向かう途中の休憩地点であり、欠かすことの出来ない憩いの場所であった。現在でも、多くの人々が水筒を片手に訪れては、水の恵みを楽しんでいる。

黒伏山は、摩天崖と呼ばれる断崖絶壁をそびえる観音寺黒伏山と沢渡黒伏山からなる二峰一山である。四季折々の景観が美しく、特に紅葉時の景観は極めて素晴らしい眺望である。観音寺地区は、平安時代の貞観7年に定額寺となった出羽国観音寺があったこと由来する。平成20年に観音寺集落内にあった水神を移設し、現在の祠を創建した。



湧出口



黒伏山

アクセス (北緯 38.424823°、東経 140.504590°)

天童方面から国道48号線高崎小学校前を左折し、黒伏高原スノーパークへ向かう。途中、右手に間木野集落と採石場が見えるところから3kmほど進むと湧水への入り口である脇道が右手に見える。その道を250mほど進んだ開けた場所の片隅に水場がある。





ごしょみず 御所の水

尾花沢市大字鶴子



〔管理者・保全団体〕 鶴子地区環境整備振興会

ポイント

新鶴子ダムの手前1 kmほどのところにあり、周囲には観音様や水神様が祀られ、御所の水の周辺一体が親水公園「御所の水公園」として整備されている。背後は急峻な杉林となっており、その山の伏流水であり、四季を通じて豊富な水量がある。また、周囲の休耕田には1万株以上のハスが植えられ、夏には見事に咲き誇る。8月初旬には、「鶴子御所の水公園ハスマつり」が開催される。鶴子地区環境整備振興会の方々が整備、清掃を行っている。



アクセス (北緯38.528861°、東経140.501250°)

県道301号線を東に向かい、旧鶴子小学校を過ぎて約800m進むと「御所の水」の大きな石碑がある。石碑の手前を右折し、ハス公園の看板の見える方に進み、狭い未舗装路を1 kmほど進むと御所の水がある。

御所の水の手前や奥に駐車可能。





なら き だちちょうじゅ めいすい 榎の木立長寿の名水

尾花沢市大字母袋



〔管理者・保全団体〕 母袋地区

ポイント

尾花沢市の市街地から車で20分ほど東に向かった母袋地区の先にある。「榎の木立長寿の名水」の標識が道路左にあり10mほど下ると清浄な水が湧出している。周囲は国有林で、スギ、ナラ等の木が生育している。

水場の近くには水の分析表があり、地区の人が関心を持って管理していることが感じられる。近くには、県指定天然記念物「鉄魚」が生息している若畑沼等の湖沼が複数あり、沢が流れ、周囲には豊富な伏流水がある。

アクセス

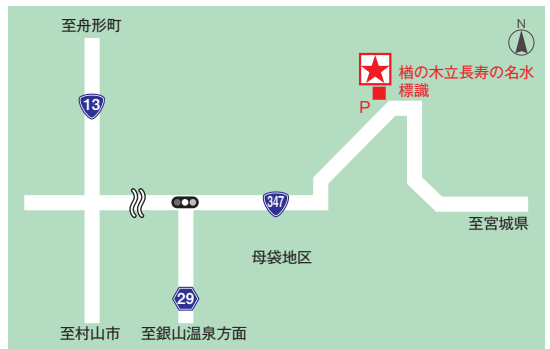
(北緯38.602278°、東経140.539306°)

尾花沢市の北部、国道347号線を東に向かい、鶴巻田地内の県道29号との交差点から更に6.5kmほど進むと、左側に「榎の木立長寿の名水」の標識がある。車が4～5台止められる駐車帯があり、10mほど下ったところに湧水がある。

雪が解け、桜の開花とともにこの水も汲めるようになる。



尾花沢市立母袋地区『長寿の名水』	
水質調査結果	
調査年度	2015年度
調査項目	水温、pH、電導度、総硬度、カルシウム、マグネシウム、鉄、マンガン、亜鉛、銅、亜鉛、クロム、硝酸態窒素、アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、活性酸素、溶解性有機炭素、溶解性無機炭素、溶解性シリカ、溶解性ケイ酸、溶解性硫酸根、溶解性塩素、溶解性硫酸根、溶解性塩素、溶解性硫酸根、溶解性塩素
調査場所	尾花沢市立母袋地区『長寿の名水』
調査日時	2015年10月17日(土) 10:00～11:00
調査者	尾花沢市立母袋地区『長寿の名水』保全委員会
調査結果	全項目が基準値以内で、水質良好と判断される。
備考	1. 調査結果は、調査当日の気象状況により変動する可能性があります。2. 調査結果は、調査当日の気象状況により変動する可能性があります。





〔管理者〕寺町生産森林組合 〔保全団体〕寺町地区

ポイント

尾花沢市の東、銀山温泉への途中に「ブナ共生の森」がある。その西口手前の道路のそばにひっそりと「ブナ源水」がある。周囲をブナ林に囲まれ、「ブナ源水」の標識と大きい自然石のそばに石積みがあり、そこに水が湧出している。水源は水場から10mほど上にあがり、パイプで小さな広場まで導いている。

このあたりは標高が300m程度にもかかわらずブナ林が生育する珍しい場所である。付近には銀山温泉、また、管理が行き届いた散策道路もあり「美しい日本の歩きたくなるみち500選」にも選ばれている。


アクセス (北緯38.563222°、東経140.514444°)

尾花沢市から国道347号線を銀山温泉方面に向かい、鶴巻田地区の信号を右折して県道29号線に入る。3kmほど南進して下柳渡戸から左折して県道188号線に入り、銀山温泉方面に向かう。1.6kmほど進むと旧上柳小学校が右に見え、更に250mほど進むと「ブナ共生の森」の表示板がある。右折して南進し、約700m行くと「ブナ観音」の看板があり、左折して400mほど進むとカーブの手前の右側にある。道路左側に3～4台車が止められる。





〔管理者〕共有地管理会 〔保全団体〕三日町自治会

ポイント

山の神清水は、延沢地区の集落から少し離れた場所にある「山の神々社」から湧き出ている泉である。山の神は道祖神として信仰され、春はお田の神として里におり田畑を守り、収穫が終わると山に帰ると云われていた。農家や山仕事をする人々は、必ず餅をついてお供えをし、神が山に戻ると山には絶対に行かないようにしていた。

尾花沢市の歴史地区である延沢は、戦国期に当地域を支配していた野辺沢満延の居城・延沢城跡があることから、様々な地域活性化の取組みをしている。そして、延沢は大正ロマン漂う銀山温泉に向かう途中の地区であるので、気軽に立ち寄れる利便性の良い場所である。



湧出口



延沢城跡 案内看板

アクセス (北緯38.555524°、東経140.472189°)

尾花沢市役所から東へ進み、県道301号線を南東に6km程進むと、延沢郵便局が見えてくる。そこから500m程進んだ所を右折し、道なりに1km程進む。細野地区方面に右折し、農免道路を進むとすぐ傍にある。





かめのこ
亀ノ子

～平成28年度選定～ Googleマップ

山辺町大字畑谷



〔管理者・保全団体〕畑谷区

ポイント

「亀ノ子」（別名「たらたら清水」）は、山辺町の12の銘水のうち、九番水として人気がある。以前は比較的目立たない湧水であったが、昭和20年に、当地出身の永田亀之介氏が整備し、氏にちなんだユーモラスな亀の像にちなみ「カメノゴ」と呼ばれ、親しまれていた。平成10年に再整備されて以来、固定ファンも増え、水汲みに訪れる人も多い。五番水には同じく亀の像がある「萬年水」もある。別名の「たらたら清水」のいわれは、湧水量が少なく「たらたら」としか流れていないからだと言われる。

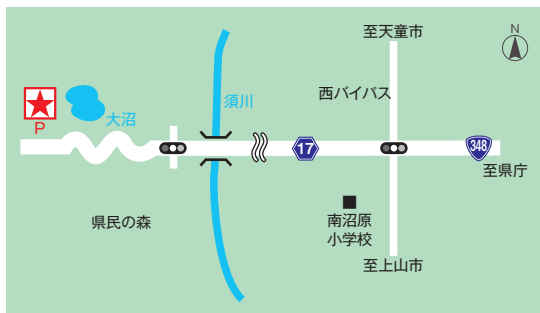


アクセス

 (北緯38.247111°、東経140.193389°)

山形市から、国道286号線、国道348号線、県道17号線を「県民の森」方面へ西に進む。「県民の森」に入り、「大沼」を右手にみながら、更に1kmほど進むと、道路右側待避帯に「たらたら清水」の標識とともに「亀ノ子」がある。

待避帯には車2～3台駐車可能であるが、従来の車両には十分注意が必要である。





ご ば ん み き 五番御神酒

山辺町大字畑谷



〔管理者〕畑谷区（作谷沢振興会）〔保全団体〕畑谷区

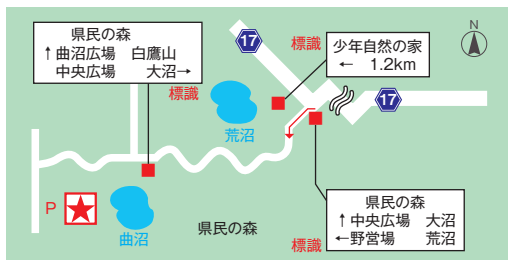
ポイント

山辺町の12の銘水の十一番水は、五番御神酒である。県民の森の西、片倉山南側の道路そばの窪地に、杉の古木に守られるように小さな池があり、清冽な湧き水が白砂を巻き上げながら湧き出ている。池から流れ出た小川は、付近の湧水と合流し、畑谷地区を通り、沢上川となり、更に送橋川となって最上川に注ぐ。流れ出る水は冷たく、付近にミズバショウの群生を育んでいる。

アクセス

(北緯38.235528°、東経140.179639°)

山形市から県道17号線を「県民の森」方面へ進み、「県民の森」の手前で「山形市少年自然の家1.2km」の標識がある交差点を左折する。道なりに3kmほど進むと、「中央広場・大沼」方面への分岐T字路・駐車場に到着する。このT字路を「曲沼広場・白鷹山」方面へ直進し、1.4kmほど進むと更にT字路があるので、左折後50mほど進むと、左側に車数台が駐車できるスペースがあり、その先に「五番御神酒」がある。





りゅうじんすい 龍神水

～平成28年度選定～ Googleマップ

山辺町大字築沢



〔管理者〕 築沢区（作谷沢振興会） 〔保全団体〕 築沢区

ポイント

山辺町作谷沢地区は豊富な湧水に恵まれており、その中から12箇所の湧水を銘水として登録して湧水マップを作成している。「龍神水」は、この中の一番水として知られている。

「龍神水」は、同町内築沢地区にある子安神社の境内にあり、龍神が飛来したといういわれがある。これは子安神社の由緒にある光輪飛来に由来する、隕石落下を彷彿とさせる。現在の龍神水は、平成10年に整備されたものである。里に近く、気軽に利用することができる。



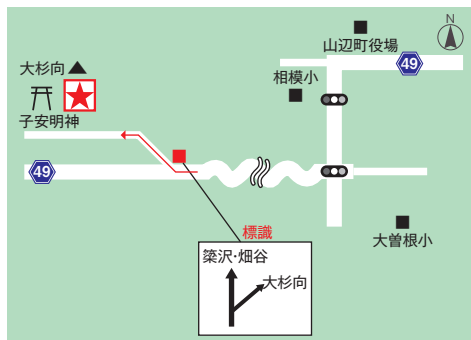
アクセス

 (北緯38.263444°、東経140.201889°)

山辺町の南にある県道49号線を南進し、相模小学校から更に1kmほど進んだ先にある交差点を「畑谷」方面へ右折する。7kmほど進み、Y字路を「大杉向」方面へ右折し、更に300mほどで「子安神社」手前にある「龍神水」へ到着する。

あるいは山形市から県道17号線を「県民の森」方面へ進み、「大沼」を経て「畑谷」から「築沢」地区に入ることもできる。

付近に駐車場はない。





〔管理者・保全団体〕 八ッ沼区

ポイント

朝日町役場から北西に2.6kmほど行った春日沼近くにある。道路そばの杉林に石積みがあり、小さな祠の下の木の樋から水が流れ落ちている。村の生活用水として長く使われて、昭和30年代簡易水道の給水に伴い一度姿を消したが昭和63年に復元されたとのこと。また、八ッ沼のいわれによると、この樋からは青い水が流れるといわれ、池にたまった水も微青白色である。



アクセス

(北緯38.308139°、東経140.126306°)

朝日町役場から北に向かい、県道113号との交差点を左折し、西に向かい最上川を渡る。県道9号線との交差点を右折し、北に400mほど進み、「大沼の浮島」の標識を左折し道なりに800mほど進むと、「若宮寺0.1km」の標識がある。左折し、500mほど曲がらずに道なりに進むと道路そばの右側にある。





イカゴの清水

大石田町大字駒籠



〔管理者〕 駒籠地区 〔保全団体〕 駒籠地区会

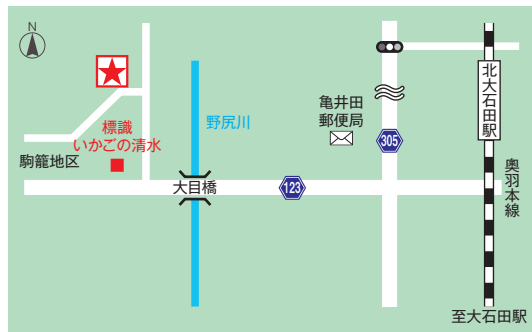
ポイント

JR奥羽本線北大石田駅から道なりに3kmほど西にある。北西に広がる低い山と丘陵の伏流水と考えられる。付近には縄文から中世までの遺跡があり、「イカゴすず」は大石田町の登録記念物になっている。この水の記録はないが、昔からの文化がある場所である。季節によって湧出量は変化するが、枯れたことはないという。



アクセス (北緯38.627389°、東経140.347583°)

北大石田駅を西に向かい、県道305号線との交差点を左折し、南進する。亀井田郵便局の先を右折し、県道123号線を2kmほど西進し、大目橋を渡った所に「いかごの清水」の標識がある。右に入り100mほど先を左折し、数10m進んだ右側にある。





しねんごすず 次年少子こわ清水

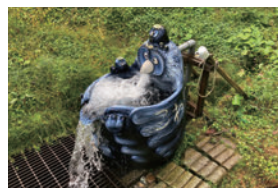
大石田町大字次年少子



〔管理者〕大石田町 〔保全体〕次年少子産業協同組合

ポイント

そば街道を通り、次年少子に向かうと、集落の手前に冷たい水が勢いよく湧いている。葉山からの湧水は水量も豊富で、地元の水道にも使われている。「こわ」の名前は、その昔、山仕事や山越えの人々が、この水で喉を潤したが、大変な山道に「こわい」（「つらい」、「苦しい」の方言）と言っていたことによる。水受けは陶器製で、地元の次年少子窯で製作されたもの。次年少子窯の陶器は、県内外の有名老舗旅館の湯舟などにも使われている。湧水から、近傍の大高根山（やまがた百名山）を散策すれば、自然を満喫できる。



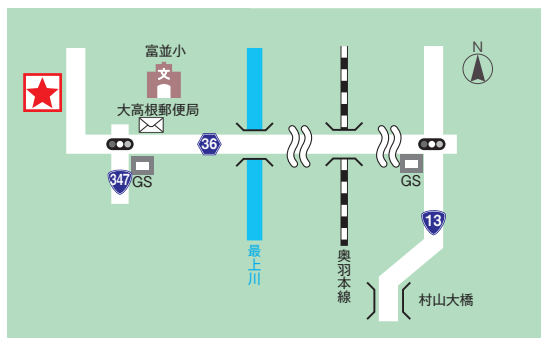
現在の水受け



アクセス

 (北緯38.583992°、東経140.287467°)

村山市内、国道13号線を通り、村山市榎山の交差点を次年少子方面に県道36号線を西に向かう。13km程進むとスノーシェッドがあり、さらに100m先、左側に「こわ清水」の標識。その直ぐ下にある。清水の脇に1、2台分の駐車スペースがある。





ど や す ず 導者清水

～平成30年度選定～ Googleマップ

大石田町大字横山



〔管理者〕 来迎寺地区 〔保全団体〕 来迎寺地区会

ポイント

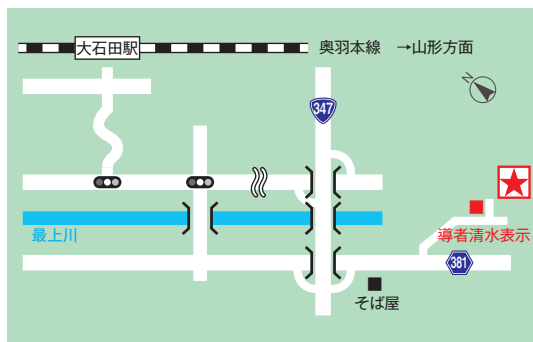
来迎寺地区内、最上川の河岸段丘に、木立に囲まれた石造りの水場があり、その底から水が湧き出ている。江戸初期、この地域は出羽三山参詣の主要な経路にあたり、参詣の導者（どや）と呼ばれる人々が、この清水に立ち寄り身を清め、喉を潤したと伝えられている。昭和初期頃までは地域住民の生活用水として利用されていた。この湧水は、大石田町の登録文化財。この名水のある来迎寺地区は、そば街道沿いにあり、一带にそば畑が広がっている、そばの在来種「来迎寺そば」の由来ともなっている。



アクセス

 (北緯38.575607°、東経140.385129°)

大石田町内、国道347号線を通り、江戸期に舟運で栄えた船着き場跡を目指す。最上川左岸の川沿いを通る県道381号線に入り、東に道なりに500m程進むと「清水の里 来迎寺」の看板が見えてくる。この看板のあるY字路を左折し250m程進むと左側に「導者清水」の標識。その脇の道を歩いて降りていく。





〔管理者・保全団体〕 英照院（深瀬清光）

ポイント

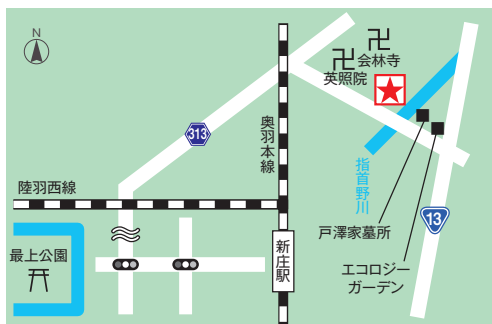
この湧水は、英照院の裏手の茂みの中。地面からひっそりと湧き出ている。表札のそばの湧水池からほど近い草むらの中が湧水地点。かつては、生活用水や稲作にも利用されていた。この清水が流れる小川にはイバラトミヨも生息している。隣接する英照院は、良縁成就や安産祈願で有名な寺院。早逝した宮子姫（新庄藩初代藩主戸澤政盛公の娘。1658年没）の菩提寺。「お姫様をお参りすると良縁に恵まれる」という噂が広まり、縁結びを願う人が訪れるようになった。



アクセス

 (北緯38.780750°、東経140.306031°)

新庄市内、国道13号線を北上し、新庄藩主戸澤家墓所への標識に沿って左折し西に向かう。途中、エコロジーガーデンを經由し、墓所を右手に道なりに進む。指首野川を渡るとすぐ右手が英照院。駐車場の奥から東側の茂みを望むと、清水の表札がある。駐車場は砂利敷きで、十分なスペースが確保されている。





しず すす 清水の清水

新庄市大字角沢



〔管理者〕 柿崎広昭 〔保全団体〕 柿崎広昭ほか

ポイント

新庄市の南西、角沢清水地区にあり、民家の入口角の石積みの中から豊富に湧出している。石積みのそばに水神様を祀っており、そこに湧いている水を導水している。この地区一体は、低山地帯の伏流水により古くから湧水に恵まれ、人々はその恩恵にあずかってきた。

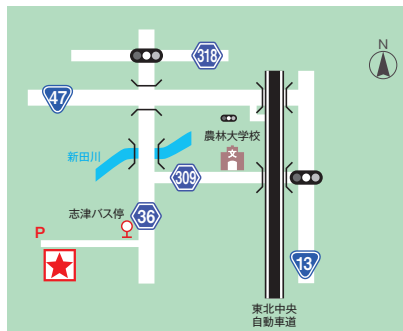
言い伝えでは、貧しい衣をまとった僧に水を差し上げたところ、感謝し錫杖で地面を突き水が湧きだしたと云う。この僧が弘法大師だったことから「弘法水」とも呼ばれている。



アクセス

 (北緯38.718583°、東経140.271555°)

県道318号線から県道36号線に入り南進する。新田川を渡り、県道36号線を南西に進むと清水地区の住宅が見え始める。清水バス停から右折して、地区内を数百m進むと右側に水田が開けて見える場所があり、その左後方、道沿いにある。車は、その先の広場に駐車可。





〔管理者〕 田屋地区 〔保全団体〕 田屋共栄会

ポイント

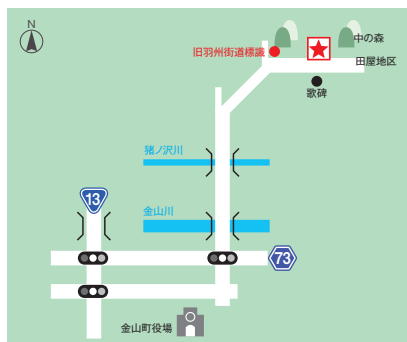
金山町役場から北に1kmほどの所に旧羽州街道の標識があり、その先の石をくり抜いた水槽に清浄な清水が流れ出ている。この地区は旧羽州街道によって、江戸時代以前から人の往来が盛んで森合峠の行き帰りにここの水で一息ついたのであろう。また、通りの向かい側にはこの地で出生した俳人「西田羽長坊」の歌碑等があり、自然豊かな杉林の中で文化的にも落ち着いて憩える場所である。



アクセス

(北緯38.891611°、東経140.334972°)

金山町役場近くの十字路を北に進み金山川、猪ノ沢川を渡り山に向かって進むと道路は二股に分かれ、そこを右に進むとすぐに左側に旧羽州街道の標識と石碑がある。そこからさらに50mほど先の左側の道路そばに「中の森長命水」の標識がある。駐車場はないが、交通量も少なく道も広いので車の駐車が可能である。





きつたりすず みず 切立泉の水

最上町大字満澤

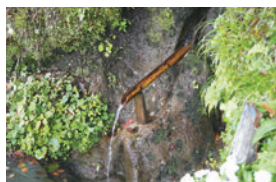


〔管理者〕 渡辺高義 〔保全団体〕 中満沢部落会

ポイント

JR最上駅から県道262号線を南に車で5分、山峡の美しいのかな満澤地区に湧いており、地元の小学生が手がけた可愛らしい看板が目印になっている。この湧水は集落内の幹線道路沿いの岩の裂け目から湧き出し、切り立った岩肌を伝い竹製のパイプから流れ落ちる。湧水量、水温は四季を通して一定で、干ばつの時でも枯れることがなく、水道のない時代から生活用水、農業用水などに利用されている。

また、近くの旧満沢小学校を活用した「みつざわ未来創造館らいず」には地元のお母さん方が営む農家レストラン「たらふく工房」もあり、地元の食材を使った四季の恵みを味わうことができる（完全予約制）。



湧出口



「たらふく工房」の郷土料理

アクセス (北緯38.729409°、東経140.511323°)

最上駅から県道63号線を南に進み、県道262号線との交差点を右折し南に3km程進むと山肌から湧いており、「切立泉の水」の大きな看板が目印となっている。

付近に駐車場はなく、路側帯に駐車する際は注意が必要である。





〔管理者〕 満沢神社 〔保全団体〕 満沢神社・上満沢観音講

ポイント

最上町の南部に位置する満澤地区内の「満沢薬師神社」そばに湧いている。県道262号は、過去には最上町から尾花沢市にぬける唯一の街道で、多くの旅人が通行したと言い、この水で喉を潤したであろう。四季を通して湧水量、水温が一定で、地区の人々にも愛されており、内外から汲みに来る人が多い。

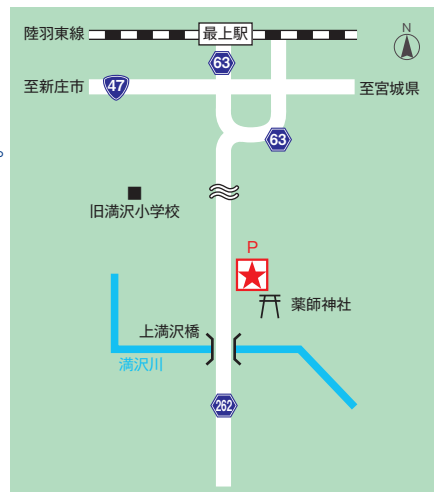


アクセス

(北緯38.720111°、東経140.511944°)

最上駅から県道63号線を南に進み、県道262号線との交差点を右折し南に進むと右側に旧満沢小学校がある。更に800mほど進むと橋の傍らに赤い鳥居の薬師神社があり、その境内に「薬師様の水」が出ている。

車を2台ほど駐車できる場所がある。





すずのかけゆすい 清水欠湧水

舟形町舟形



〔管理者〕伊藤清紀 〔保全団体〕縄文里の会

ポイント

この湧水は、JR舟形駅にほど近い、国宝「縄文の女神」が出土した場所に整備した「西ノ前遺跡公園」の奥にある。湧水は、公園の東側にある湿地帯の奥に湧き出ている。低い水温を活かして、かつてはセリやクレソンが栽培されていたこともある。湧水の脇には地域の人々が建立した庚申塔（こうしんとう）がある。

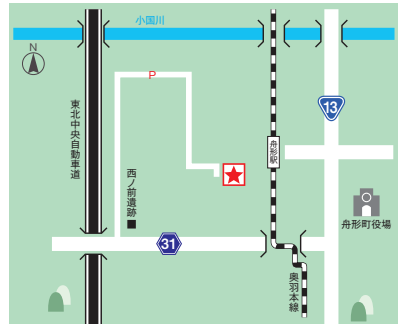
周辺は湿地帯になっており、絶滅危惧種イバラトミヨをはじめ様々な貴重動植物がみられ、自然観察にはもってこいの場所となっている。



アクセス

 (北緯38.691665°、東経140.315072°)

舟形町内、舟形町役場近く、国道13号線から県道31号線を西に西ノ前遺跡公園方面に向かう。JRのアンダーパスをくぐり、東北中央自動車道と立体交差する誘道橋手前を右折し細道を北に進むと西ノ前遺跡公園が見えてくる。公園の東側にある駐車場に車を停めて、そこから更に徒歩で湿地帯に沿って東に100mほど進む。





おすすめ 大清水

～平成27年度選定～ Googleマップ

真室川町大字及位



〔管理者〕山形森林管理署最上支署 〔保全団体〕 甌山探究会

ポイント

真室川町の鏡沢地区の北、前森山林道の車止め付近のブナ林の中にある。甌山からの伏流水が湧き出て池になっており、毎分約500L以上もの清水が底から湧いている。真室川の源流の一つである。

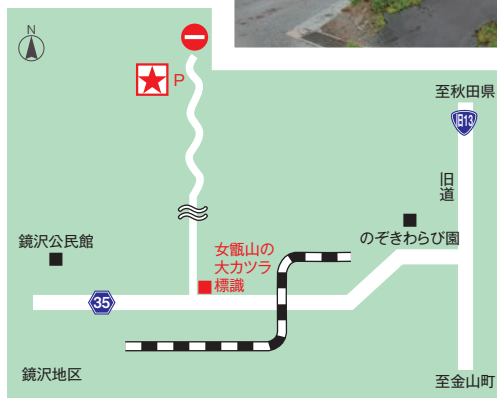
周囲は美しいブナ林で、登山道が整備されており四季ごとの美しさを楽しめる。また、「森の巨人たち百選」にも選ばれた「女甌山の大カツラ」にも近い。



アクセス

(北緯39.018250°、東経140.324611°)

旧国道13号線から及位方面へ入り、県道35号線を1.5kmほど西に進み、奥羽本線の踏切を渡る。更に1.3kmほど進むと、道路左側に「女甌山の大カツラ150m」の標識があり、右に「森の巨人たち百選」|「女甌山の大カツラ」の標識がある。そこから右折して林道に入り、標識に沿って10kmほど約25分進むと、広いスペースと車止めがある。そこに駐車し、左手に少し降りて行った所に「大清水」がある。



さ す な べ み ず
差首鍋のすず水

真室川町大字差首鍋



〔管理者〕 瀧應寺 〔保全団体〕 滝の上地区

ポイント

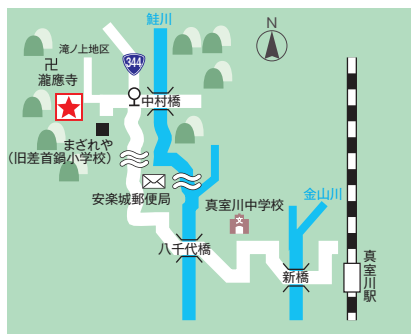
真室川町差首鍋の滝ノ上地区に、石造りの水場から澄んだ水が流れ出ている。この湧水の隣には地蔵様があり、延命地蔵として古くから知られている。この水を飲んで生活していた地域住民が、病に掛かりにくく長生きしたことから「延命水」とも呼ばれている。

差首鍋という地名の由来は諸説あるが、戦国時代この地は最上と庄内を結ぶ戦略的要衝であった。当時、最上義光軍が沓沢玄蕃の居城を包囲して城内を水不足にするべく企てたが、城内に湧水があり降伏しなかった。やがて湧水も枯れ細り、玄蕃の家来たちは次の手として、城壁の窓から「首」を「差」し出すように「鍋」を吊るしては眼下を流れる大沢川の水を汲み上げ、生き長らえたことから「差首鍋」となったという。



アクセス (北緯38.920745°、東経140.199982°)

真室川町役場より国道344号を酒田方面に10km程進む。町営バス停の「中村橋」がある十字路を左折し、滝ノ上地区集落内を100m程直進し、瀧應寺境内の下にある。





ますだま すず 升玉の清水

大蔵村大字赤松



〔管理者・保全団体〕 升玉地区住民及び八嶽土建株式会社

ポイント

升玉地区は銅山川が流れる静かな山間にある集落であり、地域の活性化を図るために企業と共存した地域農業を行なっており、その一環としてこの湧水を利用した「大蔵わさび」の生産に取り組んでいる。湧水場所は、断崖絶壁の「日陰倉」を見ることができ風光明媚な場所である。

升玉の地名は、升玉橋の上流に「桜淵」という場所があり、沢山の川鱒が上り桜淵付近に溜まって泳いでいたことから、「鱒溜」が「升玉」に変わったと言われる。



大蔵わさび



山神社を通り過ぎたY字路

アクセス (北緯38.655892°、東経140.203196°)

大蔵村役場から国道458線を肘折温泉方面に5kmほど進み、さらに県道331号線を片倉方面に2kmほど進むと村営バス升玉停留所がある。そこから西に進み、山神社を通り過ぎたY字路地点に駐車可能なスペースがある。山側の細い道路を徒歩で進むと水場がある。





〔管理者〕 八楯健助 〔保全団体〕 八楯健助ほか

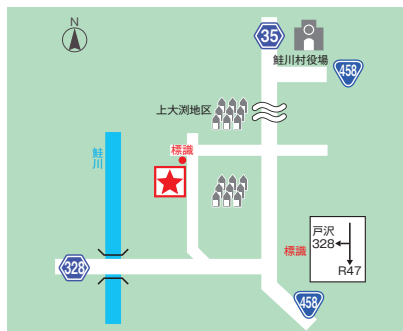
ポイント

鮭川村役場から約500m南下すると、右手に上大淵という40戸程の集落がある。その外れに湧水があり、江戸時代から利用されてきた。地区の方々以外にはほとんど知られていないが、米作りや約50年前までは米酢の醸造にも用いられており、地元の方々の生活に密着した貴重な存在であったのであろう。時代の流れと共に歩んできた湧水である。現在も夏場には野菜や果物を冷やしたり、漬物の保存のために使用されている。



アクセス (北緯38.786472°、東経140.217750°)

鮭川村役場からすぐの国道458号線を南下すると、約1kmで上大淵の集落に着く。右手に集落に入る道があるので、さらに300mほど道なりに進み、集落が途切れる十字路を左折すると、右手に「上大淵小助の清水」の看板がある。湧水前の道路の交通量は少ないが、駐車場はなく、駐車の際は十分に注意が必要である。





〔管理者・保全団体〕小杉地区

ポイント

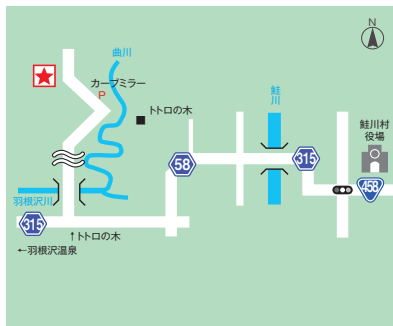
この湧水は、小杉の大杉（通称「トトロの木」。アニメ「となりのトトロ」に出てくるトトロに似た樹形の杉の木）の近くで、その木の前を流れる曲川を挟んだ対岸にある。木陰の岩間から、竹の筒を通して冷たい清水が流れている。水受けには木の桶を配し、水音が涼しさや風情を醸し出す。大正年間に羽根沢温泉が開湯してからは、曲川地区の住民に加え、湯治に通う人が道すがらこの水で喉を潤した。名前の由来はここからきている。



アクセス (北緯38.817793°、東経140.182251°)

鮭川村内、県道315号線を西進して道なりに進むと、「羽根沢温泉」「トトロの木」の案内が見えてくる。さらに進むと「トトロの木」右折の標識があり、右折して二つ目のカーブミラーのすぐ先にある。水場の南側に2台ほどの駐車スペースがある。

※水が出にくい状態が続いています。(令和7年10月現在)





にわつきかんのんのすず 庭月観音清水

鮭川村大字庭月



〔管理者〕庭崎賢恵 〔保全団体〕庭月観音法灯護持会

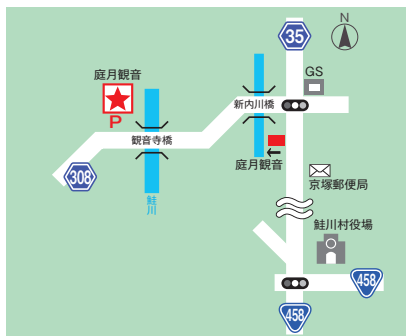
ポイント

最上三十三観音の霊場参りの結願の札所で有名な庭月観音の境内にある。千年以上の由緒を持つ本尊のご利益に加え、四千年前の縄文時代から祭祀が行われていたとされる聖地から湧き出る清水である。境内には縄文遺跡などの名所が多くあり、静寂な石段を登り見て回るの四季折々の楽しみがある。すぐ近くには清流鮭川が流れ、旧盆には灯籠流しで賑わい、仲秋の名月を愛でる名所でもある。名水を汲みに来る人も多く、大いに利用されている清水である。



アクセス (北緯38.817027°、東経140.222638°)

鮭川村役場から県道35号線を北上し、京塚郵便局を過ぎると左手に庭月観音の標識がある。その先の信号機を左折し、県道308号線に入る。1.2kmほど進むと、赤い「観音寺橋」があり、橋を渡るとすぐ右が庭月観音である(役場から約4.5km)。手前には30台以上駐車可能な広い駐車場があり、案内の看板、トイレも設置されている。





よねすず
米清水

～令和5年度選定～ Googleマップ

鮭川村大字川口



〔管理者〕阿部清 〔保全団体〕鮭川村自然保護委員会

ポイント

鮭川村南部に鮭川が大きく湾曲した河岸段丘上の集落があり、そこから湧き出ている水が米清水である。水場のある米地区は、全国でも数少ないギフチョウとヒメギフチョウの混成地であり、他では見ることの出来なくなった希少野生動植物の宝庫である。集落内から静かに湧き出ている水場は、米太平山や米湿原などを探索した後、ひと時の癒しを受けられる場所である。

米という地区名の由来は諸説あるが、「鮭の群集する川」の意味であるアイヌ語の「イ・オ・ナイ」が縮まり「ヨネ」に変わったとされている説や、コメの産地という意味からも「米」となったと伝えられている。また、米清水は管理者の先代名から「佐治兵衛すず」とも呼ばれている。



米太平山入口



米湿原

アクセス (北緯38.773749°、東経140.211076°)

鮭川村役場から国道458号線を南に1.3km程進み、右折して県道328号線を2km程進む。「米地区」と「米湿原」への案内標識がある所を左折し、800m程進むと米地区公民館がある。水場は向側の水田のそばにある。





けいじしみず 慶次清水

米沢市八幡原



〔管理者〕米沢市 〔保全団体〕米沢前田慶次の会

ポイント

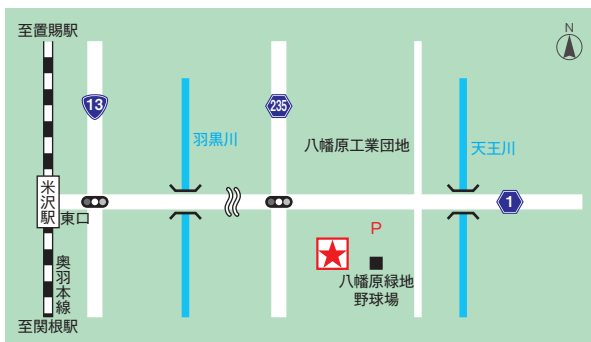
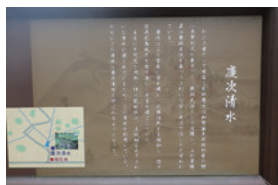
米沢駅から東に2.3kmほどの野球場の西の森の中にある。前田慶次がこの地に庵を結び、この清水で暮らしたという。以前はかなりの水量があったが、八幡原工業団地の開発が進むにつれ細くなったと言われるが、降雨の後などは豊富な水量がみられる。近くには前田慶次由来の遺構が数々見られる。



アクセス

(北緯37.909056°、東経140.154611°)

米沢駅東口を東に進み、国道13号、羽黒川を渡り信号を渡ると八幡原工業団地があり、その右側の「八幡原緑地野球場」に駐車する。野球場を左手に見ながら200mほど進み球場を半周ほどした所に案内板がある。右の林の中に入り、数10mほど進むと、湧水池がみられる。





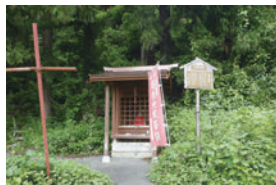
〔管理者〕米沢市 〔保全団体〕滝の清水保存会

ポイント

小野川温泉開湯は、836年（承和3年）、小野小町が父の行方を訪ねて京都から東北に向かう途中、病に倒れた際に偶然発見したとされる。

滝の清水は小野川温泉開湯時から湧き続ける清水である。温泉街の東にある「清水山」の山麓から引水しており、小町由来の美人長命の名水と言われてきた。

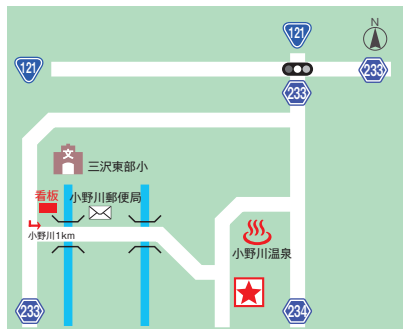
小野川温泉は米沢の市街地からも近く、米沢の奥座敷と呼ばれており、毎年6月から7月にははたる祭りが開催され、大勢の人で賑わう。



アクセス

(北緯37.880709°、東経140.054600°)

国道121号線（館山バイパス）から県道233号線、234号線と約4km南下し、小野川温泉街に入る。「共同浴場滝の湯」を過ぎ左手に「旭屋旅館」があり、旅館の玄関脇に位置する。東屋に大きな「滝の清水」の看板が掲げられている。



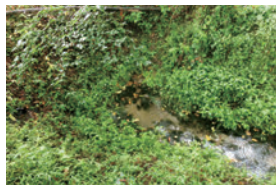


〔管理者〕米沢平野土地改良区 〔保全団体〕堀金大学会

ポイント

米沢市内、東北中央自動車道米沢北ICから西へ、^{おものがわ}鬼面川を越え北に向かい、米沢六郷郵便局を西に進むと左手に木立が茂る一角が見えてくる。この中の水路に清水がこんこんと湧いている。米沢市北部（広幡町、六郷町）には、館清水をはじめ、八幡清水、長清水が湧き、農地を潤してきた。田園の中に、安らぎの水辺空間をつくっている。

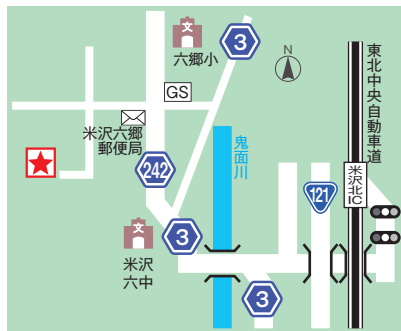
江戸初期の慶長年間、農地の開拓が進み、利水のために争いが起こるようになった。行者だった実相坊が藩主に建言したことで、堰がつくられ争いが収まった（館清水はこの堰の一部）。傍らには水源記念碑がある。また、実相坊の墓前（堀金地区）では、今でも4月に水神祭を行っている。



アクセス

（北緯37.958611°、東経140.086722°）

米沢市北部、東北中央自動車道米沢北ICを西に鬼面川橋を越え、米沢六中前を北に向かう。県道242号線沿いの米沢六郷郵便局から西に約400m進む。左手に木立の茂る緑地帯が見えてくる。駐車場はない。水路に沿って南に進むと記念碑が見えてくる。記念碑から南側に伸びる水路（堰跡）が館清水である。





〔管理者〕 普門院 〔保全団体〕 錦戸薬師堂保存会

ポイント

この湧水は、「錦戸薬師堂」（米沢市赤崩地内）の隣にある。山の登り口で、杉林の中に水屋が建てられ、古くから信仰の水として大切にされてきた。本堂に手を合わせてから頂く作法が守られている。疲労回復、病気平癒に効果があるとされ、多くの人が御利益を求めて訪れる。臨終正念の祈念祭事の時にも供えられる。

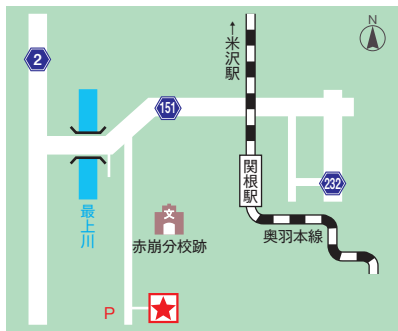
5月と9月の例大祭には、同市関根地区の普門院に祀られている薬師如来像（コロリ薬師）を御神輿に奉安し、村内の安泰を祈願して、当地まで練り歩く。御尊像は、お参りした人が死ぬ時に苦しまなかった話が広がり、「コロリ薬師」と呼ばれるようになった。

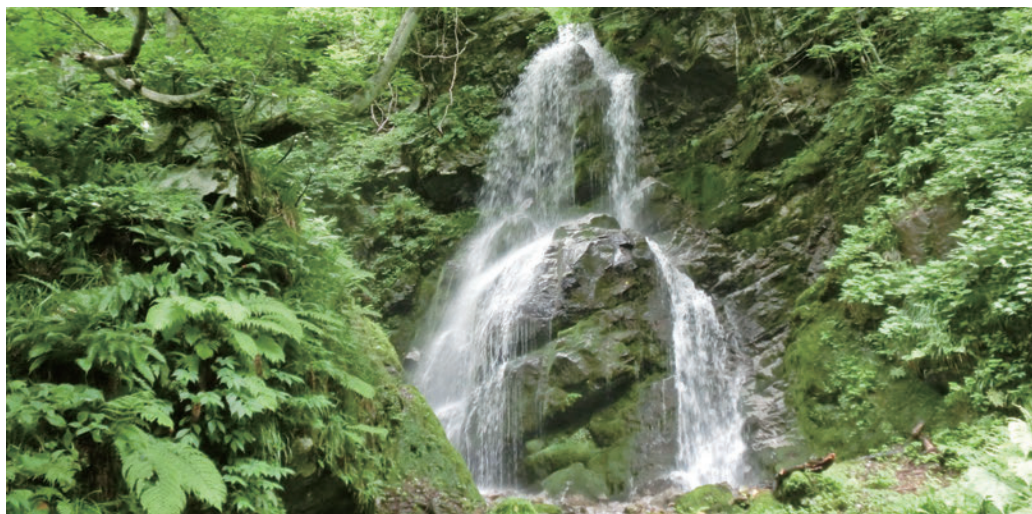


アクセス

(北緯37.844571°、東経140.126281°)

米沢市内、県道2号線を南進し、県道151号線に左折する。最上川（松川）を渡ったところで、赤崩方面に右折する。道なりに進み、旧関根小学校赤崩分校を過ぎると右手に「錦堂薬師様無料駐車場」の看板。駐車場の反対側の石段を20mほど進むと右手にある。左手に薬師様（錦戸薬師様）が祀られている。

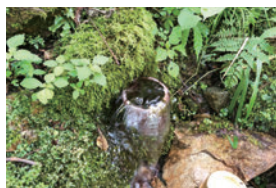




〔管理者〕長井市 〔保全団体〕三階滝保存会

ポイント

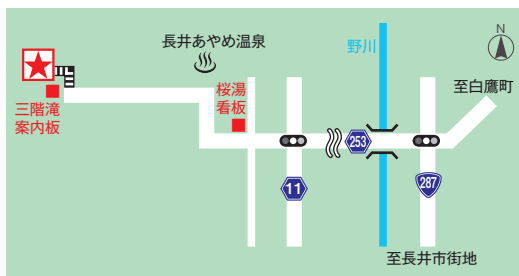
長井市の北西、寺泉地区の「あやめ温泉桜湯」から更に西に入った山中にある。周囲は杉、ナラ、桜等の木々に覆われ、三段に落ちる滝が流れている。滝の下には不動尊を祭った祠があり、更にその下にはしめ縄が張られ、清水が出ている。この湧水は、祠に行くスロープの途中から湧いており5mほど引いて飲み口を作っている。湧水の傍には「登り来て 湧き出づる水の腹にしむ 不動尊祀らる 三階の滝」の句がある。林の中にあり、滝が豪快で四季折々の自然が感じられる。



アクセス (北緯38.124222°、東経139.973806°)

長井市北部の県道253号線を西に向かい、県道11号線を越えて、更に2kmほど西進すると、信号機のない一時停止の交差点があり、右前方に「桜湯」の看板がある。

更に直進し、「長井あやめ温泉」の前を西に道幅の狭い林道を1.5kmほど行くと「三階滝に至る」の標識がある。そこに車を止め、木の階段を200mほど下りていくと掲示板があり、奥に祠、裏に滝がある。祠の下に清水が湧いている。

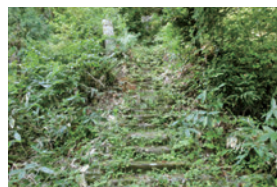




〔管理者・保全団体〕 小滝区

ポイント

この湧水は、「白鷹山虚空蔵尊表参道」の中ほど、表参道石段手前の広場に勢いよく湧き出ている。湧水地点は100mほど登ったところであり、そこから導水している。通年枯れることがない。水は夏でも冷たく、登山や参拝客の休憩に格好の水となっている。白鷹山（やまがた百名山）には、古来、虚空蔵菩薩が顕現し、白い鷹が棲む霊山として信仰を集めている。山頂付近はブナに覆われ、春の新緑、秋の紅葉を楽しめる。



アクセス

 (北緯38.219987°、東経140.175217°)

上山市狸森地区、国道348号線を長井・白鷹方面に進み、境小滝トンネルを抜け、白鷹トンネル手前、右手の旧道に入る。旧道を400mほど進むと、小滝越えと白鷹山頂方面の分岐点がある。白鷹山頂方面の道には「白鷹山虚空蔵尊表参道」の看板。そこから2.1kmほど北進する。道が狭いのですれ違いに注意。(途中、「白鷹山・若返りの水」あり)。車道終点の広場の奥に湧水がある。





〔管理者・保全団体〕小滝区

ポイント

この湧水は、「白鷹山虚空蔵尊表参道」の中ほど、表参道沿いの斜面から湧き出ている。水は夏でも冷たく、多くの人々が水を汲みに訪れる。通年枯れることがない。「若返りの水」の由来は、この湧水を飲んで若返ったという伝承にちなんだもの。

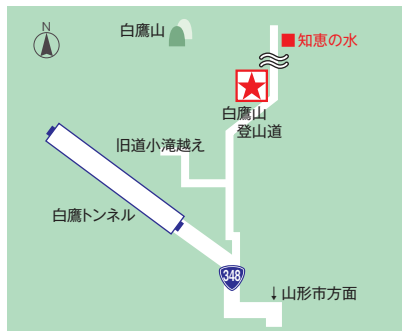
白鷹山（やまがた百名山）には、古来、虚空蔵菩薩が顕現し、白鷹が棲む霊山として信仰を集めている。山頂付近はブナに覆われ、春には新緑、秋には紅葉を楽しむことができる。



アクセス

 (北緯38.211447°、東経140.176988°)

上山市狸森地区、国道348号線を長井・白鷹方面に進み、境小滝トンネルを抜け、白鷹トンネル手前、右手の旧道に入る。旧道を400mほど進むと、小滝越えと白鷹山頂方面の分岐点がある。白鷹山頂方面の道には「白鷹山虚空蔵尊表参道」の看板。そこから1.2kmほど北進する。道が狭いのですれ違いに注意。湧水は左側に見えてくる。駐車は右側の空きスペースを使う。





〔管理者〕高梨利右衛門奉賛会 〔保全団体〕二井宿わくわくプロジェクト

ポイント

この湧水は、二井宿峠古道の途中、杉林に囲まれた「一の坂・刑場跡」の片隅に、こんこんと湧き出ている。湧水地点は、石積みの1尺四方の洞穴の中にあり、水面の揺らめきから湧き出る様子が見え、音が聞こえる。隣接の刑場跡は、その昔、厳しい年貢の取立てに直訴して磔となった高梨利右衛門の刑場跡である。地域のために亡くなった故人を偲び、夏には例大祭を行っている。

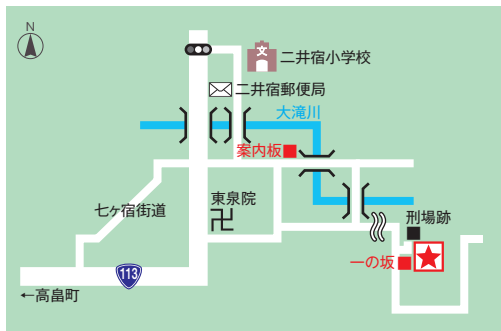
この峠道は、伊達領の時代から軍事道路として利用されたもので、奥州街道につながることから、江戸期には人や物の重要な通り道であった。峠道を通る人々の大切な飲み水として利用されていた。



アクセス

(北緯38.016469°、東経140.271302°)

高島町内、国道113号線を東に七ヶ宿方面に進む。峠道のトンネルの手前、交差点を大滝地区内に右折する。大滝川沿いに進み未舗装の林道を1kmほど進むと「一の坂・刑場跡」の標識がある。その先にある「古道一の坂へ」の案内から60mほど徒歩で登ると高梨利右衛門刑場跡があり、そのすぐ隣に岩清水がある。





ち え みず り こんすい 知恵の水 (利根水)

高島町大字亀岡

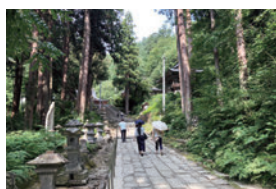


〔管理者〕 亀岡文珠 (松高山大聖寺) 〔保全団体〕 亀岡文珠

ポイント

知恵の水は、日本三文珠の一つ「亀岡文珠」の本堂右側の奥に湧き出している。文珠堂には、学問の神様といわれる文珠菩薩（知恵を司る菩薩）が祀られており、多くの受験生が合格祈願に訪れる。この湧水は、古くから「飲めば文珠様の知恵を授かることができる」と伝えられている。

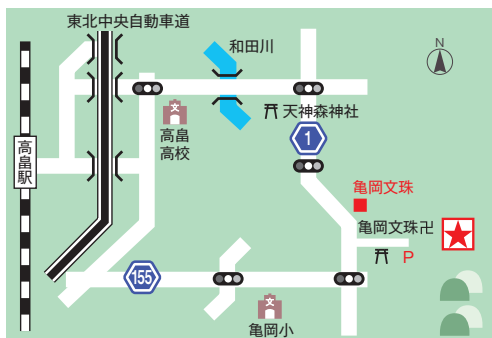
平安時代（807年）に東大寺の徳一上人が、勅命により、伊勢国神路山にあった文殊菩薩（中国五台山から伝来）をここに移動して祀ったのが亀岡文珠の始まりとされる。歴史的な名刹である。1602年に、直江兼続が前田慶次らを招き、ここで詩歌会を開いている。



アクセス (北緯37.9803447°、東経140.191717°)

高島町、市街地から南の方にある亀岡文珠を目指す。

町役場から南に向かい、県道1号線（ラ・フランス通り）を通過して、看板に従って進めば、亀岡文珠に着く。参道を登った先に亀岡文珠堂があり、本堂の右側奥に湧いている。





ブナしずく

小国町大字小玉川（森林セラピー基地温身平地内）



〔管理者〕 置賜森林管理署 〔保全団体〕 森林セラピーアテンドメントミーティング

ポイント

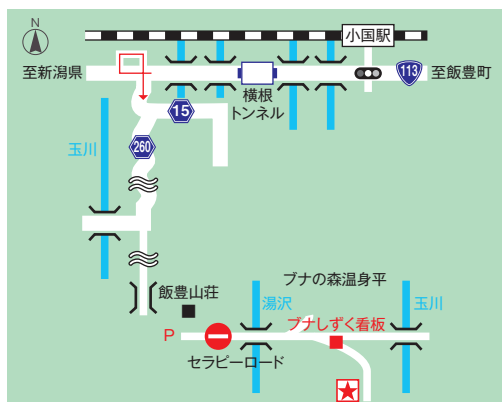
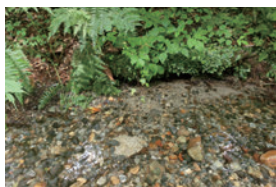
日本百名山の「飯豊連峰」への登山基地の一つ、飯豊山荘から気軽に散策できる「森林セラピー基地 ブナの森温身平」の中にある。セラピーロードは標高400～500m、全コース延長5.5km。深いブナの原生林に囲まれたこの林道を2kmほど歩く必要があるの、登山家や、自然愛好家しか知らない湧水である。まさにブナの精、ブナのしずくであり、全身で自然を感じることができる場所である。



アクセス

(北緯37.916500°、東経139.678806°)

小国町から国道113号線を新潟方面へ進み、赤芝峠を過ぎて県道15号に入る。3kmほど進み、県道260号線との交差点を直進し県道260号線に入り、南に17kmほど直進すると飯豊山荘に到着する。飯豊山荘の先に駐車場があり、ここから先は徒歩となる。車止めを超え、橋を渡ると徒歩約2kmで右手に「ブナしずく」の看板があり、そこを下りてすぐのところにある。





しょうじょうすい 清浄水

～令和3年度選定～ Googleマップ

飯豊町大字小白川



〔管理者〕宝蔵院 〔保全団体〕天狗山奉賛会、小白川区民会

ポイント

やまがた百名山の一つである天狗山の登山道の途中にある。「清浄水」とは、煩惱の汚れを流す水と言われ、古くは禊ぎにも用いられた。県道から小白川集落に入る入り口には、赤い大きな鳥居があり、天狗山まで続く霊山となる。この地域は、現在も多くの人が篤い信仰を寄せている。

天狗山は、800年前の鎌倉時代に源頼朝の叔父である護念上人が、荒尾沢の滝のそばに三日月不動尊を祀ったのが起源とされている。また、近世明治以降は慶明海上人が、八千日山籠の修業を行ったとされ、その修験の際に使用したのが「清浄水」である。護摩堂の本尊である不動明王のほかに天狗様が祀られている。



天狗山一の鳥居



天狗山護摩堂

アクセス

(北緯38.031428°、東経139.929171°)

飯豊町役場から県道10号線を手ノ子方面に進むと、小白川十字街に天狗山一の鳥居がある。鳥居からは所々にある標識に従い、天狗山方面へ西に進む。集落を過ぎて、林道を終点まで進む。そこから登山道を徒歩で進み、護摩堂に向かうと境内の下に水場がある。

※令和4年8月に発生した豪雨の影響により、登山道が通行できなくなっています。(令和7年10月現在)





あかいしみず 関伽井の清水

鶴岡市青龍寺字金峯1



〔管理者・保全団体〕 金峯神社

ポイント

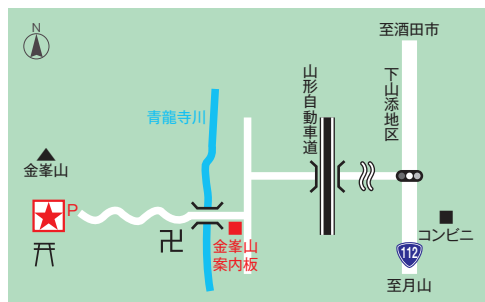
鶴岡市の南西、金峯山金峯神社中宮の社務所前に小さな祠があり、その傍らに清水がある。水源は無想の滝の上で、貯水して300mほど引き込み「関伽井の清水」として提供されている。周囲は杉林に囲まれ静かな中に、たくさんの石碑、石像があり、お堂が立ち並ぶ。この水は枯れたことがなく、また、濁ったこともないと云う。駐車場も比較的近いので多くの人々がこの水を求めて訪れる。



アクセス

(北緯38.678833°、東経139.806056°)

鶴岡駅の東側の国道112号線を南進し、下山添地区のコンビニエンスストア手前の信号を右折し、西に入る。1.5kmほど進んで、山形自動車道の下をくぐり、県道349号線を越えた後、T字路を左折して青龍寺簡易郵便局前を通過し、南に200mほど進むと、金峯神社入口の赤い橋が右手に見える。右折し、その橋を渡り山の方向に2kmほど進むと鳥居が見え、その左側を道なりに進み、登り切ると中宮の広い駐車場に出る。そこからは徒歩で、社務所前の「関伽井の清水」までは直ぐに到着する。





〔管理者・保全団体〕湯田川地区自治振興会

ポイント

庄内三名湯の一つである湯田川温泉の近くに岩清水八幡宮があり、その傍らの小さな祠から湧き出ているのが「岩清水」。この水は、平安時代後期にあった後三年の役に出陣した八幡太郎義家が、この地で矢尻をもって岩石を穿ち得られた名水とされている。

岩清水八幡宮は、京都の石清水男山八幡宮から分霊したとの由緒があり、また天保7年（1836年）の江戸時代には、庄内藩主が湯田川温泉に入湯する際に、この名水で茶をたてたとする記録が残る。



岩清水八幡宮



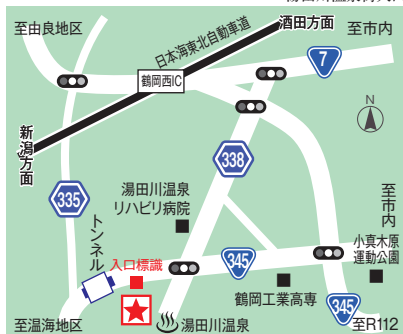
湯田川温泉街入口

アクセス

（北緯 38.695569°、東経 139.766076°）

日本海東北自動車道鶴岡西ICから国道7号線を鶴岡市内方面に2km程進み、矢馳交差点を湯田川方面に右折する。県道338号線を3.8km程南下し、国道345号線湯田川温泉口十字路を右折する。そこから400m程進んだ左側に「この先100m岩清水八幡宮」の標識がある。

国道345号線から岩清水八幡宮に入る道は未舗装で狭いので、湯田川温泉共同駐車場を利用し、徒歩で行くのがお勧め（約10分）。





〔管理者〕 鶴岡市 〔保全団体〕 外部委託業者

ポイント

鶴岡市の湯温温泉街を東に抜け、蕎麦屋「大清水」の隣に小さな公園があり、奥の祠の下から清水が湧いている。湯海岳の伏流水である。江戸時代後期に庄内藩士である安倍親任が記した「筆濃余理(ふでのあまり)」の中にもあり、昔から名水として親しまれた歴史を持つ湧水である。周囲は湯海岳の急峻な山が迫り道路のすぐ下には湯海川が流れている。

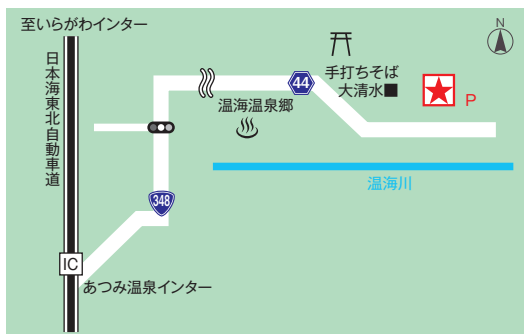


アクセス

 (北緯38.613944°、東経139.614000°)

あつみ温泉IC出口の交差点を北に直進し、県道348号線のトンネルをくぐり、交番所の前の交差点を直進して湯温温泉街に入る。湯海川に沿って県道44号線を東に進み温泉街を抜けると、道路すぐ右側を湯海川が流れる。更に100mほど進むと「手打ちそば大清水」がある。その東隣に公園があり「大清水」がある。

公園の前に、車が2台ほど駐車できる駐車場がある。





ガッキの清水

しみず

鶴岡市湯野浜



〔管理者・保全団体〕湯野浜地区自治会

ポイント

ガッキの清水は、鶴岡市内有数の海水浴場がある湯野浜温泉街にある、400年以上前から親しまれている湧水である。この湧水は、長年地域の飲用水や生活用水として利用され、現在も、農作業の休憩や夏に涼を取る場所として、多くの人々が利用している。また、観光地にもなっており、温泉街を散策しながら訪れることができる。呼び名の「ガッキ」とは地域の言葉で、段差がついていることを意味しており、水場の周りの地形から名付けられたとされている。

保全活動は、湯野浜自治会が定期的に点検と清掃を行い、近隣住民と共に年1回の大掃除をしている。また、観光地として利用するため、清潔な状態を保つようにしている。

アクセス

(北緯38.778753°、東経139.752697°)

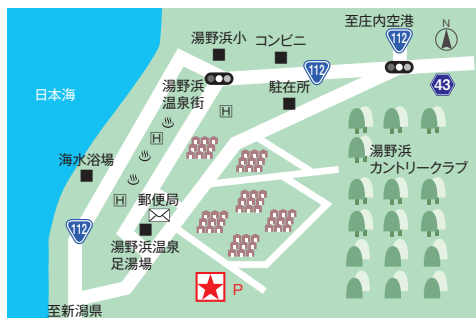
国道112号線を県道余目加茂線へ入り、北に進み、「ホテル亀や」の方向に右折する。湯野浜温泉足湯場を過ぎて、湯野浜郵便局前を通過し、直後の交差点を右折する。標識があるので、そのまま路地を進むと着く。



湯野浜海岸



清掃活動





かも ふうどうさま しみず 加茂 お不動様の清水

鶴岡市加茂



〔管理者〕白蓮寺 〔保全団体〕加茂新屋敷町内会

ポイント

加茂地区の新屋敷にある「お不動様の清水」は、藤滝不動尊のお堂の右手から湧き出ている。江戸時代には街道の休憩所として利用され、旅人が清水でのどを潤していたと伝えられている。江戸時代に建立された藤滝不動尊は、古道の通り沿いにあり多くの人々の信仰を集めており、多数の石仏や記念碑が残る。

この地区では、お盆の三日間は夜明け前にこの清水を汲んで仏前に供える風習がある。また、この清水は「末期の清水」とも呼ばれ、死を迎える人が死の直前に「タマシ」となって清水を飲みに来ると言い伝えられている。



藤滝不動尊



加茂水族館

アクセス (北緯 38.754571°、東経 139.737967°)

庄内観光物産館のある国道7号線から国道112号線大山街道を4.5km程進み、丁字路を加茂方面へ右折する。加茂坂トンネルを抜けて300m程進んだ左側に不動尊入口の看板があり、そこを入ると不動尊が見える。





〔管理者・保全団体〕 越沢自治会

ポイント

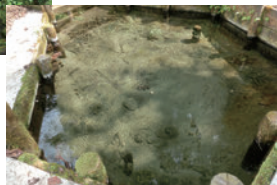
鶴岡市の温海地区から東に15kmほど入った越沢地区の山中にあり、摩耶連山の伏流水が棚田の最上部から湧出している。標高は350mほどである。水が湧いている沢と、その横に水底から湧く木枠の池があり、透明な水の中にサンショウウオが生息している。沢の湧き口にはステンレス製で「摩耶の銘水郷清水」の表示板がある。

周囲は山際に杉林があり、他方は「やまがたの棚田20選」に選定された棚田が連なる。越沢地区の街道沿いに「まやのやかた」があり、掲示板に案内図がある。

アクセス

(北緯38.554389°、東経139.708222°)

あつみ温泉ICを降り、信号機を東に入る。県道348号線を東に11kmほど進み、国道345号線との交差点を右折して南進する。1.8kmほど進み、左側の「こえさわ」の看板から地区内に入る。250mほど進み、「仮設」のバス停を左折し、「木野俣」方面に入る。途中いくつかの道標があり、標識に従い道なりに3kmほど進む。道は簡易舗装されているが、狭くすれ違いに苦労する。最後の「摩耶の銘水郷清水」の表示の前に駐車し、10mほど下に行くと湧水がある。





こわしみず 古和清水

鶴岡市湯温海



〔管理者〕あつみ観光協会 〔保全団体〕温海嶽の会、あつみ観光協会

ポイント

古和清水は、「やまがた百名山」の一つである温海岳の登山道途中にある。登山道脇から豊富に出ている水は、この水場より50mほど上部の山の斜面から湧き出ており、そこから下に流れ落ちている。温海岳のトレッキングには欠かすことの出来ない水であり、更に登山道を進むと山頂までには、見応えのある三つの滝や美しいブナ林を見ることが出来る癒しの空間がある。

温海岳は平安初期に羽黒山開基の黒珍が熊野権現を勧請し、人々の信仰を集める修験の山になったとされる。また、あつみ温泉は古くからの伝説として、傷ついた一羽の鶴が湧き出る湯で傷を癒しているのを発見したことに始まるとされており、川底より湧き出した温泉が海に流出したことから「温海」の名が生まれた。

アクセス

(北緯38.619457°、東経139.620159°)

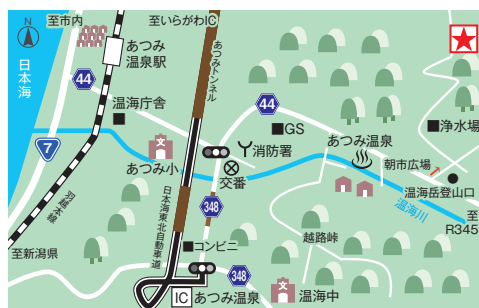
鶴岡市温海庁舎から県道44号線を南東に1km程進み、消防署温海分署がある交差点を左折して温海温泉方面に進む。1.6km程温泉街を進むと、温海岳登山入口の標識があり、そこから1km程進んだ場所にある。



温海岳入口



温海温泉





しぞうしみず 地蔵清水

鶴岡市砂川



〔管理者・保全団体〕 地元有志

ポイント

地蔵信仰が篤い鶴岡市砂川地区にある地蔵堂の傍らの、苔むした岩の下から湧き出ている水場が「地蔵清水」である。

この水場は元々荒地となっていたが、40年ほど前に地蔵様が発見され、地元の有志達が整備に取り掛かった。喜捨を募り、昭和63年9月に清水の傍に地蔵堂を建立し、御堂の中に地蔵様を祀った。周辺は木々に囲まれた清々しい環境にあり、訪れた参詣者は湧き出た水に親しんでいる。

荒沢ダムまで足を延ばせば、「タキタロウ館」などの自然を楽しめるスポットもある。



地蔵堂全景



タキタロウ館

アクセス (北緯 38.574355°、東経 139.825412°)

鶴岡市朝日庁舎から県道44号線を荒沢ダム方面に南下し、4km程進むと寶勝庵というお寺の看板がある。そこを右折し、寶勝庵から100m程進んだ沢向こうに地蔵堂が見える。

車で容易に行ける場所であり、付近には駐車できるスペースがあり、湧水場所までは徒歩1分以内である。





じゅうろう えん し みず
重郎右衛門清水

鶴岡市大網

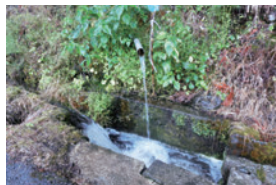


〔管理者〕 遠藤重郎右衛門 〔保全団体〕 遠藤重郎右衛門、関谷地区

ポイント

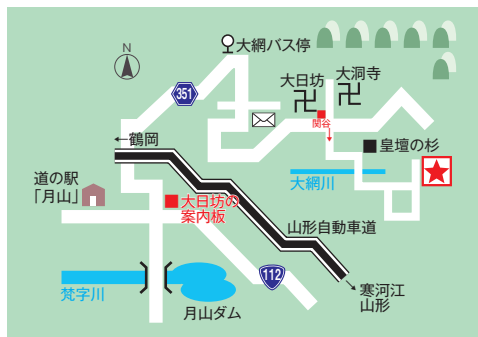
大網地区の「大目坊」先の関谷集落にある。昔から良質の水が大量に湧き出し、村人や旅人の喉を潤した。江戸時代には、庄内藩の酒井忠器が参勤交代で江戸へ向かう際、この水を献上し、「大変おいしい」とお褒めをいただいたとされている。

関谷集落はこの清水を中心に家屋が建てられたが、地滑り被害が相次ぎ、その多くは移転し現在の戸数になった。また、この地域は地下水を抜き取る地滑り対策工事により、他に数多くあった湧き水が減ってしまった。この清水は水量が減少してしまったが、現在でも冷たい水が湧き続けている。



アクセス (北緯38.587507°、東経139.912370°)

道の駅「月山」から山形方面に1 km程進み、大網方面に左折する。県道351号を2.5km程進むと関谷集落の標識がある。そこを右折し、さらに900m程道なりに進むと「重郎右衛門清水」がある。





〔管理者〕鶴岡市 〔保全団体〕七窪地蔵尊世話人会

ポイント

湯野浜温泉の北東に位置する下川七窪地区の松林に囲まれた地蔵尊に、七窪地蔵清水がある。かつての地主の名前から「与四郎清水」とも呼ばれるこの湧水は、旧羽州浜街道沿いにあり、行人や旅人たちから親しまれていた。

この地蔵尊は、江戸後期の天保年間に起こった大飢饉で、亡くなられた人々の御霊を鎮めるために地蔵様を祀ったとされている。現在も毎年8月のお盆期間には、慰霊祭を執り行っている。



七窪地蔵尊



地蔵尊入口

アクセス

(北緯 38.789497°、東経 139.769155°)

庄内空港から県道33号線を西に進み、国道112号線を南に3.5kmほど進むと「県民の海・プール（スパール）」の標識があるY字路に着く。そこから左に100m進んだ場所にあり、側道に駐車できるスペースがある。





ふるさとの水 宝谷

みず ほう や

鶴岡市宝谷



〔管理者・保全団体〕宝谷地区自治会

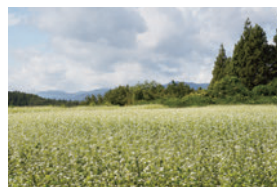
ポイント

鶴岡市の東部、月山山麓の宝谷地区に湧く「ふるさとの水 宝谷」は、かつて地区の簡易水道として利用されており、平成13年の庄内広域水道供用開始まで、地域の暮らしを支えてきた。現在も水量が豊富で、地区民が農業や産業などに利用しており、煮沸してお茶やコーヒー、飲み水などに利用する人も多い。

近くには「ふるさとむら宝谷」があり、農業やそば打ちを体験することができ、そば処「宝谷そば」では地元産のそばを味わうことができる。



ふるさとむら 宝谷



宝谷地区のそば畑

アクセス (北緯 38.635394°、東経 139.904392°)

山形自動車道の庄内あさひICから県道44号線（庄内こばえちャライン）を北に5.5km程進み、「ふるさとむら宝谷・宝谷そば」の看板から右折する。さらに林道を1km程進み宝谷地区の集落を抜け、「ふるさとむら宝谷」を通り過ぎ、「ふれあい広場」の看板右手の細い山道を1km程進むと田沢川橋手前がある。数台の駐車が可能。





〔管理者〕 鶴岡市 〔保全団体〕 田麦俣観光協会・鶴岡市・アルゴディア研究会

ポイント

柳清水は807年（大同二年）に弘法大師が開山した湯殿山の麓にある。この場所は、大師が昼食を摂り清水で喉を潤した際、箸として使った柳の小枝を泉のほとりに挿したところ、その小枝が柳の大木となったとする伝説がある。そして、街道を往来する旅人や湯殿山参詣者の喉を潤す泉の一つとして親しまれてきた。現在も田麦俣地区の重要な水源となっている。

六十里越街道はおよそ1200年前の昔から人の往来が絶えなかった。今では、自動車専用道路となった国道112号線にその役割を譲ってしまったが、湧水地点は新旧道路が交差する感慨深い場所である。



柳清水入口

アクセス (北緯38.574321°、東経139.919407°)

国道112号線山形方面から湯殿山料金所入り口手前の100m地点にあり、湯殿山IC入口の緑色の高速道路標識が目印である。湧水はその裏、放流口は左側にある。自動車専用道路のすぐ脇なので注意が必要である。





〔管理者・保全団体〕矢流川自治会

ポイント

鷹尾山から生石地区に流れ入る^{やだれがわ}矢流川のほとりに、石で囲われた水場がある。傍には、酒田市の保存木となっている見事な大ケヤキがあり、そこに鷹の巣があったことから、鷹清水と呼ばれるようになった。

すぐ側に、家畜の守護仏とされる馬頭観音が祀られたお堂があり、馬で移動していた時代は、人と馬の休憩場所として欠かせない場所であった。以前は、大ケヤキの根もとから2か所湧き出ており、右側を人が飲み、左側は馬が飲んだという。現在は、左側の水場が無くなり、右側の1か所のみとなっている。

矢流川は、平安時代にあった戦いにおいて、「敵に放った“矢”が川に“流”れた」ことに由来するという。



湧出口



馬頭観音

アクセス (北緯38.926790°、東経139.943064°)

庄内町方面から国道345号線を北へ進み、東平田郵便局のある交差点を右折する。東平田コミュニティ防災センターを通り過ぎ、650m程直進する。鷹清水橋を越えたところにある側道に入るとある。





御嶽神社の清水

酒田市升田



〔管理者・保全団体〕 御嶽神社

ポイント

御嶽神社は、酒田市升田に鎮座している神社であり、その参拝者のために湧水を引き、手水として利用している。

この神社は、弘法大師が神のお告げによって発見したとされる「玉簾の滝」を御神体として創建された。神社境内周辺は古社の雰囲気が漂い、参道には目洗石、座禅石、ぼんぼん石など多くの伝承があり、歴史を感じることができる。

玉簾の滝は、高さ63mと直瀑での高さは県内随一であり、春の大型連休やお盆の時期には夜にライトアップされ、全国から人々が訪れている。また、プロジェクションマッピングも実施し、多くの人々に楽しんでもらえるよう計画している。



御嶽神社 手水舎



玉簾の滝

アクセス

(北緯38.997654°、東経140.052069°)

日向川に並行して走る県道366号線を東へ進み、下黒川橋を渡る。更に進み、弥生橋を渡ると升田集落へ入る。その先に「玉簾の滝駐車場」が見えてくるので、駐車場に車を停め、沢に沿って500m程歩くと御嶽神社に到着する。





〔管理者〕酒田市 〔保全団体〕八幡地域観光物産事業実行委員会

ポイント

酒田市八幡（旧八幡町）、荒瀬川沿いの保養施設「八森温泉ゆりんこ」の西側の道路から下がった所にある。昭和55年に建てられた東屋があり、その中で3箇所から水が湧いている。石造りの椅子や木のベンチが設置されている。水源は山に少し入った所にあり、湧出した水を貯水して水場まで引いている。この水は「湯の澤霊泉」と呼ばれ不老不死の水として親しまれて神仏にも供えてきたという。周囲は杉林に囲まれ、付近には、荒瀬川の水中観察室や散策道路、八森自然公園スポーツ施設、保養施設「八森温泉ゆりんこ」等がある。



アクセス

 (北緯38.966750°、東経139.945139°)

酒田市立鳥海八幡中学校の南にある国道345号線と国道344号線の交差点を東に800mほど進むと、Y字路の先に「八森温泉ゆりんこ」が見えてくる。その交差点の右手前の山際の道路から一段低くなったところに「湯ノ澤霊泉」の東屋が見える。

駐車場は道路反対側に9台ほど置けるスペースがある。





るりみず 瑠璃の水

酒田市総光寺沢



〔管理者・保全団体〕 総光寺

ポイント

酒田市松山地域の東方にある古刹「洞瀧山總光寺」の裏手にある「中の院」への参道途中にひっそりと湧き出ているのが瑠璃の水である。薬師瑠璃光如来に因み名付けられたこの水は、庄内地方に伝わる施餓鬼供養の際、参詣者の手水として利用されている。水場の後方には賽の河原があるため地藏菩薩が祀られ、周囲は深山幽谷の景観となっており趣を感じさせる。

昭和6年に施餓鬼供養を復活させた際に、湧水のある水場も改めて整備した。そして、供養をする時に湧水で手を清め、中の院、森の山道場と巡り、故人や先祖を供養するという流れを總光寺第58世住職が築いた。



「中の院」への参道



總光寺山門

アクセス

(北緯 38.859696°、東経 139.970396°)

JR余目駅から県道117号余目松山線を東へ5km程進む。庄内橋を渡り、右折すると總光寺への案内標識が見える。そこを左折して東へ進み、總光寺を目指す。寺院右側にある側道を200m程進むと駐車場所があり、石段の参道を少し登ったところに「瑠璃の水」がある。





〔管理者・保全団体〕 新田自治会

ポイント

環境省の「平成の名水百選」に選ばれた庄内町を流れる立谷沢川の流域にある湧水。虚空蔵岳の裾より湧き出る水を新田地区まで引いている。湧水は一年を通して尽きることが無く、以前は生活用水として利用されており、欠かすことのできない水であった。現在も水場では、農作業等の休憩時にのどを潤したり、涼を取る姿が見受けられる。

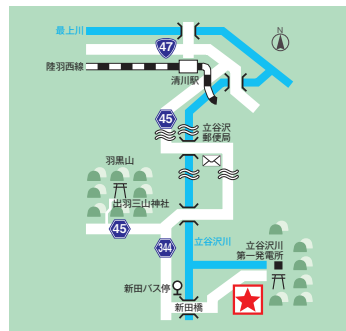
現在は6戸の集落である新田地区は、昔「市郎右衛門」という人物が鶴岡市から移住し、ここを開拓したことからその名前をとって「市郎右衛門新田」となった。湧水は、東北電力が立谷沢川第一発電所の社宅の水道に利用するために、虚空蔵岳の裾から昭和30年頃から引水し、その後、新田自治会で譲り受けた。



アクセス

(北緯38.667889°、東経140.002250°)

国道47号から県道45号を南下する。立谷沢郵便局を通過し、そこから3km程進むと県道344号と分岐する。その県道344号をさらに2km程進むと新田地区の標識がある。そこを左折して立谷沢川を渡り、道なりに進むと水場がある。





〔管理者・保全団体〕宗教法人御瀧神社

ポイント

立谷沢地区中村集落の檜澤山の中腹にある岩間から湧き出し、神社の境内へ滝となって流れ落ちる「御瀧不動尊」は、「御瀧様」として親しまれている。また、御滝様にはトウホクオオサンショウウオが生息している。

社殿内には江戸初期の過酷な幕政に苦しむ人々を救うために活躍した義民として名高い熊谷三郎兵衛を守護神として祀る「熊谷神社」が建立され、病者の代参、商売繁昌、漁猟の豊漁祈願のため参詣する人々が絶えない。また、神社周辺が東北・北陸等に広く普及した水稻品種「亀之尾」の発祥の地であり、神社の鳥居をくぐるとそこに記念碑がある。



鳥居をくぐって境内を進む



「亀の尾」発祥地の記念碑

アクセス

(北緯 38.723986°、東経 140.017485°)

清川駅から県道45号線を南へ8km程進み、立谷沢地区肝煎の中村集落に進む。「熊谷神社」の看板から左折し1.5km程山間に入ると右手に「熊谷神社 御瀧神社」の大きな駐車場がある。鳥居をくぐり、老杉に囲まれた境内を数分ほど歩くと、熊谷神社拝殿の奥に湧水がある。





うしわたりがわ 牛渡川 (荒川地区)

遊佐町直世



〔管理者〕山形県 〔保全団体〕箕輪鮭漁業生産組合

ポイント

JR羽越本線吹浦駅から1.5kmほどのところに、丸池様に隣接して流れる。牛渡川は約4kmの清流であるが、流水のほとんどは、鳥海山からの湧き水であり、豊富な水量がある。山側の川岸から水が湧出している様子も見る事ができる。梅花藻やカジカなどの希少動植物が生息する他、鮭も遡上する川であることから、毎年、秋から冬にかけて鮭を採捕し、人工孵化、放流が行われている。

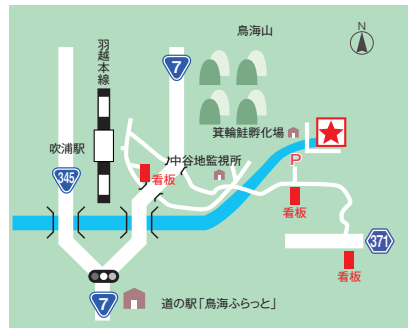
なお、孵化場周辺のみを名水として選定した。



アクセス (北緯39.072478°、東経139.892452°)

JR羽越本線吹浦駅から南東方向に1.5kmほど進むと箕輪鮭漁業生産組合の孵化場等がある。その駐車場に車を止め、徒歩で案内標識どおりに遊歩道を進む。孵化場の手前がある川（上流側）である。

※駐車は、組合事業の邪魔にならないよう御配慮ください。





〔管理者〕 宿町二集落 〔保全体〕 遊佐町

ポイント

遊佐町吹浦地区、鳥海山大物忌神社（吹浦口之宮）の参道東側の山際にある道端、石垣の下から清冽な水が湧き出ている。湧き出た水がたまって大きな沼になっていたことが名前の由来となっている。歴史のある神社の門前にあり、多くの参拝者が行き交い、往時の賑わいを偲ばせる。

鳥海山大物忌神社は、6世紀には歴史に登場している。現在は、鳥海山山頂の御本殿、蕨岡口之宮と合わせて一つの神社となっている。歴代天皇をはじめとして、土地の有力者の庇護を受けてきた。



アクセス

 (北緯39.072611°、東経139.880000°)

遊佐町内、国道345号線を北上し、JR吹浦駅の東口（正面）を目指す。吹浦地内で歩道橋の手前を右折し、踏切を越え、突き当りを右に、次のT字路を左折し、スーパーマーケットを通り、最初の交差点を左折する。吹浦児童公園を通り過ぎると、道沿い右側に湧水が見えてくる。





おしょうしず 落伏清水

遊佐町直世



〔管理者〕落伏集落 〔保全団体〕落伏集落・遊佐町

ポイント

J R吹浦駅の東、直世地区にある古刹「永泉寺」を過ぎて、すぐ近くの道路沿いに湧き出ている清水である。雄大な鳥海山の麓、静かな集落内に水の流れる音が響いてくる。湧水は清流滝淵川に流れ出る。この川では秋になると鮭の遡上する姿を見ることができる。

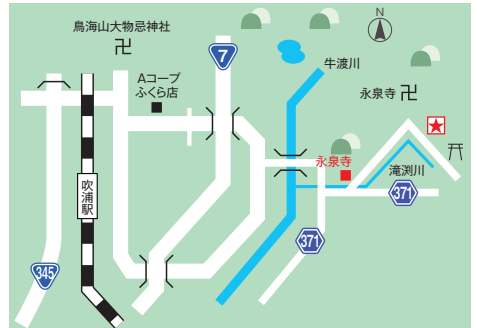
「永泉寺」は、670年の歴史を持つ名刹で、パワースポットにもなっている。入口の杉の巨木、苔むした石段、奥の朱赤の山門、その中の仁王像、極彩色の格天井など、幻想的で豪華な景観に目を奪われる。清水とともに歴史に浸れる場所である。



アクセス

 (北緯39.069221°、東経139.907702°)

遊佐町内、国道345号線を北上し、J R吹浦駅の東口（正面）を目指す。吹浦地内で歩道橋の手前を右折し、踏切を越え、突き当りを右に、次のT字路を左折し東に向かって進む。県道371号線に合流する交差点を左折する。永泉寺の標識に従って、永泉寺を目指す。永泉寺のすぐ先に湧水がある。





かまいそかいがん 釜磯海岸

遊佐町吹浦



〔管理者〕山形県 〔保全団体〕吹浦地区まちづくり協議会

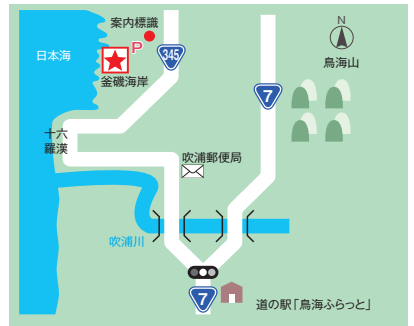
ポイント

JR羽越本線吹浦駅から沿岸部を通る国道345号線を約1km北上した所にある。7月から8月にかけては海水浴場として、大勢の人が訪れる場所でもある。砂浜の所々から、10度前後の冷たい水が湧き出し、珍しい光景なので手を入れて楽しむ人達もいる。水は鳥海山の伏流水であり、砂浜の他に海岸の岩場からも湧き出ている。釜磯海岸の湧水は、2016年に「鳥海山・飛鳥ジオパーク」として日本ジオパークに認定された。



アクセス (北緯39.080055°、東経139.872416°)

国道7号線沿いの道の駅「鳥海ふらっと」から北に100mほど進み、国道345号線に左折し海岸沿いに約1.5km進むと釜磯海岸の案内標識が見えてくる。この標識から左折し、中へ進むと釜磯海岸の駐車場がある。約20台の駐車が可能である。駐車場には、「鳥海山・飛鳥ジオパーク」の案内看板がある。





〔管理者・保全団体〕女鹿集落

アクセス (北緯39.105000°、東経139.879111°)

遊佐町から国道7号線を北に進み、国道345号線との交差点を右折して女鹿地区に入る。600mほど進み、一番低いあたりまで下ると右側に水場があり、「神泉の水」がある。

付近に駐車する場所がないので、住宅の方々の迷惑にならないよう注意が必要である。



ポイント

遊佐町から国道7号線を北に進んだ女鹿地区の住宅街の中に水場がある。水源は羽越本線の線路を越して東に500mほどの所である。

石造りの洗い場が6つに区切られており「飲料」、「米研ぎ」、「冷やし」、「野菜海藻洗い」、「洗濯」、「オムツの洗濯」まで分かれている。湧水がさまざまな用途に使われている。

濁ったことはないが、季節により湧水量が変化する。この地区の人々の生活用水になっており、水を中心に地区の方々が集まりコミュニケーションをとっている。坂を50mほど上った所に神社があり、横には津波避難の公園があって日本海の眺望が開けている。

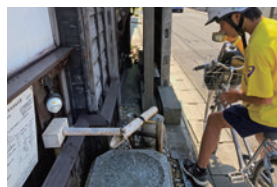




都合により、ただいまご利用いただけなくなっています。

ポイント

この湧水は、JR遊佐駅東側の通称「元町」にある老舗菓子店「光月堂」の壁際にある（個人所有の湧水）。獅子威しと石造りの水受けに流れ落ちるさまは、日本庭園を想起させる。周辺には、歴史的・文化的に貴重な施設が数多くあり、街並みとマッチしている。湧水は、町の中心に位置し、通りがかりの人が喉を潤す憩いの場となっている。町内には多くの湧水が湧き、これらを見てまわる「まちめぐり」ができる。

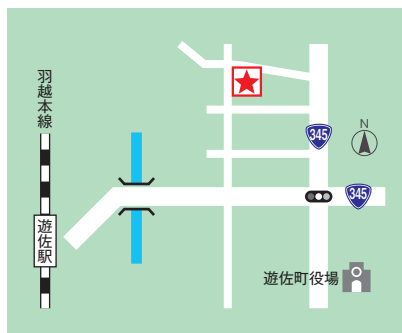


アクセス

 (北緯39.019348°、東経139.908004°)

遊佐町内、JR遊佐駅の東口から駅前の通り（県道208号線）を北東に向かう。100mほど進んだところの交差点を左折し、北に向かって更に350mほど進むと、右手に菓子店「光月堂」が見えてくる。店舗入口右側に湧水がある。駐車は、店舗左手の数台分のスペースを利用する。

※都合により、ただいまご利用いただけなくなっています。(令和7年10月現在)





〔管理者・保全団体〕 鈴木喜一郎

ポイント

遊佐町北東部、鳥海山麓の直世地区に「山居の水」はあり、稲荷神社境内の石灯籠の下から静かに湧き出し、小川に合流する。背後には樹齢300年程の大木がそびえ、桜とイチヨウの木陰にある厳かな水場である。昔は山の上にあった水田、近年ではニジマス、イワナ、ヤマメの養殖に活用されていたが、現在は鮭の孵化場や畑で利用されている。

湧水の隣には京都から勧請された稲荷神社が鎮座しており、古くから水の恵みに感謝し、地域の守り神として親しまれてきた。

近くの「中山河川公園」は撮影スポットとして人気があり、残雪の鳥海山を背景に洗沢川を渡る鯉のぼりと桜並木が素晴らしい。



アクセス (北緯39.066689°、東経139.913222°)

「升川簡易郵便局」を100m程東に進み、斜め左方向に曲がり、道なりに200m進んだところにある防火水槽から山道側へ右折し、防火水槽の北側に数台駐車可能。20m先の右手の木々の奥に徒歩で下っていくと、稲荷神社の赤い鳥居が見える。湧水は神社境内にある石灯籠の下から湧いている。





しんざんじんじゃ
深山神社

遊佐町遊佐



〔管理者・保全団体〕 六日町集落

ポイント

JR遊佐駅から北東へ600m程進んだ月光川の河畔に、深山権現が鎮座している深山神社がある。この神社は、周辺集落の鎮守として崇拝されており、境内の3箇所から良質な水が湧き出ている。神社の手水舎として設けられており、その手水に使用されている湧水である。また、境内の樹齢600年の大樹群は、遊佐町有形文化財に指定されており見事な景観を形成している。

深山神社は、寛永時代に五穀豊穡万民安堵を祈願し建立され、周辺集落の鎮守として崇拝されてきた。大山祇神を祀り、毎年5月1日の例大祭には神輿巡業を行い、また祭りや神事にはお頭舞を奉納する。社殿格天井の画は名作を残し、境内の大樹群と多くの石碑とともに古い歴史と情緒を物語っている。



深山神社入口



手水舎

アクセス (北緯39.019780°、東経139.909719°)

遊佐町役場から国道345号線を北に600m程進み、月光川手前の出光ガソリンスタンドを右折する。小路を進むと深山神社の石碑が右手に立っている。その奥に深山神社の手水舎があり、向側には駐車場がある。





たきみず 滝の水

遊佐町吹浦



〔管理者・保全団体〕滝ノ浦地区

ポイント

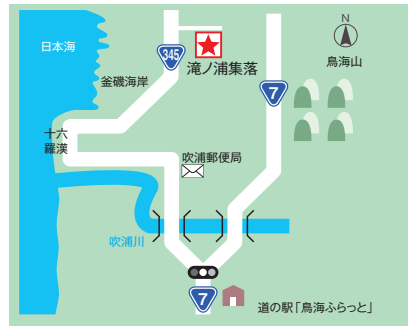
JR羽越本線女鹿駅の南200mほどのところの遊佐町滝ノ浦地区の中にある大鳥神社境内で滝のように流れ落ちる湧水である。鳥海山の伏流水で、この地区には他にも湧水があるが、中でも最大の湧水がこの滝の水で、集落の名前「滝ノ浦」の由来となったと言われている。

この地区では、古くから飲用や洗濯等の生活用水として使われてきた湧水である。

アクセス

 (北緯39.097035°、東経139.880509°)

国道7号線沿いの道の駅「鳥海ふらっと」から北に100mほど進み、国道345号線に左折し分岐点から5kmほど進むと、道路右側（東側）に滝ノ浦集落がある。駐車場はなく、国道345号線からの通路も狭いので、集落付近の国道沿いの駐車帯に車を止め、徒歩で100mほどのところに大鳥神社がある。





〔管理者・保全団体〕 遊佐町

ポイント

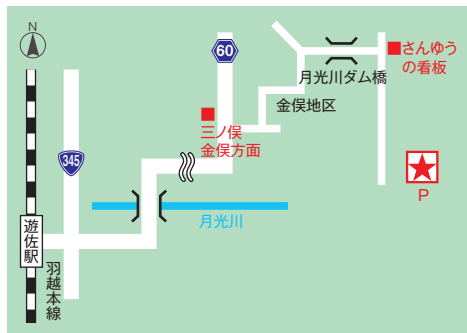
遊佐町から月光川に沿って上り、三ノ俣集落の農林漁業体験実習館「さんゆう」のすぐ前にある。近くに車を置けるので多くの人々がこの水を求めて訪れる。水源は100mほど上にあり、「さんゆう」入口のコンクリート柵に貯めて、そこから水を引き込んでおり、7箇所から冷たい水が勢よく出ている。周囲は丘陵地になっており、夏は畑、冬は小さなスキー場になっている。また、天候が良いと遙かに日本海が光って見渡せる。この地区は湧水が非常に豊富で、道路の側溝にも清浄な水が激しく流れている。



アクセス

 (北緯39.039389°、東経139.994389°)

遊佐町役場付近から月光川を右手に見ながら県道60号線を東に4kmほど上ると、左側に「三ノ俣 金俣方面」という案内板があり、そこを右折して、更に300mほど進むと同様の案内板があり、左折して道なりに進み、金俣二組公民館を過ぎ、右折する。月光川ダムに架かる赤い橋を渡り、更に1.3kmほど進むと、三ノ俣公民館があり、前を過ぎしばらく進むとT字路がある。右折すると「さんゆう」が見え、道路側に水場がある。





どうはらのたき 胴腹滝

～平成27年度選定～ Googleマップ

遊佐町吉出



〔管理者〕遊佐町 〔保全団体〕胴腹滝周辺環境保全協議会

ポイント

遊佐駅から東に7.5kmほど東の鬱蒼とした杉林の奥に、社を挟んで2つの滝がある。山の斜面の途中から突然多量の湧水が2箇所から流れ出ている。周囲は、流れの中に苔むした石が多数あり、数々の石仏が幽玄で神秘的な雰囲気を出している。案内板には、体に良い水であり安産の神としても崇められているという記載がある。山の胴腹から水が出ていることからこの名が付いている。

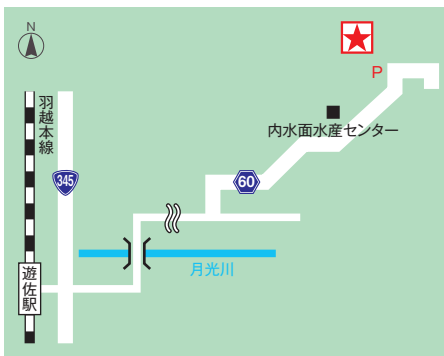
駐車場から胴腹滝までは林の中を5分ほど歩くが、杉林を進むと滝の音が聞こえる。山形県里山環境保全地域第1号に指定された場所でもある。地元の人は、左右の滝で水質が違い、「コーヒーに合う」「緑茶に合う」と言っている。



アクセス

 (北緯39.040750°、東経139.973389°)

遊佐町役場付近から月光川に沿って県道60号線を7kmほど上り、内水面水産センターを過ぎて400mほど進むと、左側に大型車が5台ほど駐車できる駐車場がある。その先の「胴腹滝 里山環境保全地域」の案内板から林の中を右方向に100mほど入ると「胴腹滝」が見える。





まるいけさま 丸池様

遊佐町直世



〔管理者〕 鳥海山大物忌神社 〔保全団体〕 NPO法人遊佐鳥海観光協会

ポイント

JR羽越本線吹浦駅から1.5kmほどのところ、牛渡川沿いに直径約20m、水深約3.5mの池がある。池そのものが丸池神社の御神体であり、一般に「丸池様」と称され崇敬されてきた。底から湧き出る湧水のみを水源としているために非常に透明度が高く、水温も低いことから水中の倒木さえもなかなか朽ち果てずに残っている。また、池の水は瑠璃色で非常に神秘的である。遊佐町の天然記念物にも指定されている。

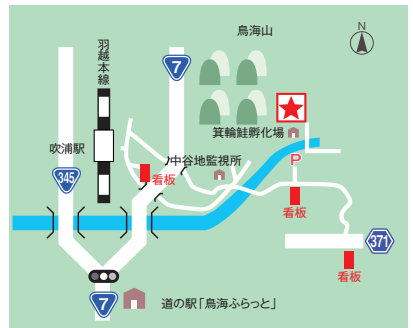


アクセス

(北緯39.072765°、東経139.891538°)

JR羽越本線吹浦駅から南東方向に1.5kmほど進むと箕輪鮭漁業生産組合の孵化場等がある。その駐車場に車を止め、徒歩で案内標識どおりに遊歩道を進む。石橋を渡り少し進んだ先で右に曲がると丸池様がある。

※駐車は、組合事業の邪魔にならないよう御配慮ください。





〔管理者〕 阿部康雄 〔保全団体〕 遊佐町

ポイント

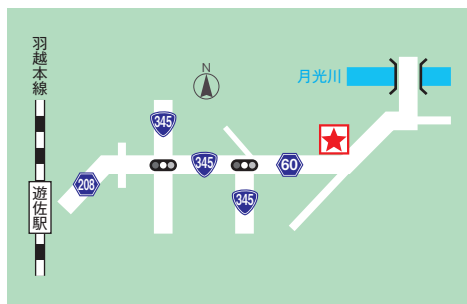
この湧水は、一面に広がる庄内平野の水田の中、鳥海山（日本百名山）を背に、金物店の店先にある（個人所有の湧水）。湧出口は、石造りの水受けに段々と流れ落ちるようにしつらえられており、遊佐町にある「一ノ滝・二ノ滝・三ノ滝」をモチーフにしている。水は冷たく、勢いよく湧き出ている。店の裏手には鮭の遡上が見られる月光川が流れている。近くには、映画「おくりびと」のロケ地にもなった月光川河川公園がある。町内には多くの湧水が湧き、これらを見てまわる「まちめぐり」ができる。



アクセス

 (北緯39.015603°、東経139.916282°)

遊佐町内、JR遊佐駅の東口から駅前通り（県道208号線）を東に向かう。道なりに国道345号線、県道60号線と進む。駅前から700mほど進むと左手に丸勝金物店（倉庫）が見えてくる。その敷地の南東角にある。駐車の際は月光川河川公園等を利用するとよい。





やま かみ みず 山ノ神の水

～令和5年度選定～ Googleマップ

遊佐町野沢



〔管理者・保全団体〕野沢山郷組合

ポイント

JR遊佐駅から北東に位置する高瀬峡の入口に、山ノ神が祀られた小さな祠がある。そこから少し進んだ岩場より、静かに湧き出ているのが「山ノ神の水」である。山ノ神は、稲作における水の守り神として信仰を集めていたとされる。また、水場のある高瀬峡は、鳥海山の麓にあり、山の伏流水や雪解けによりできた雄大な滝や渓流を見ることができ、森林浴も楽しめる。

高瀬峡は、鳥海山の長坂道登山口に繋がる渓谷であり、古くから劔龍神社の修験者が行を積んだ霊場であったとされている。また、高瀬峡大滝付近には、お不動様が祀られている祠があったとされており、その祠を高瀬峡の入口付近に移し、地域の人々や高瀬峡を訪れる人がお参りしやすいようにしたとされている。



高瀬峡案内板

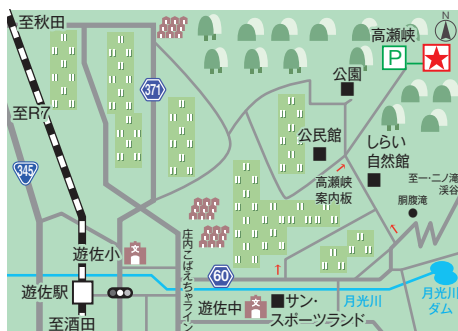


高瀬峡大滝

アクセス

(北緯39.059321°、東経139.965971°)

JR遊佐駅から東に1km程進み、庄内こばえちャラインから県道60号線を「高瀬峡」方面へ進む。途中、「しらい自然館」から500m程北に進んだところに高瀬峡林道入口があり、そこから2km程進んだ場所にある。





遊佐小学校の湧水

遊佐町遊佐



〔管理者〕 遊佐町 〔保全団体〕 遊佐小学校

ポイント

鳥海山のふもと、遊佐小学校の中庭から冷たく水量豊富な水が湧き出している。かつては小学校のプールにこの湧水が利用されており、「水が冷たすぎて子ども達が震えながら入っていた」というエピソードがある。

現在は、この湧水を利用してビオトープを整備しており、冷たく清らかな水にしか生息できない希少淡水魚「イバラトミヨ」が生息する。また、様々な湿生植物や水生昆虫の姿も見られ、子ども達は休み時間や授業の一環として、この場所で生き物の観察を楽しみ、自然への興味と理解を深めている。

遊佐町は、地域の湧水文化の発信拠点として、地域内外の見学者を受け入れていく予定である。



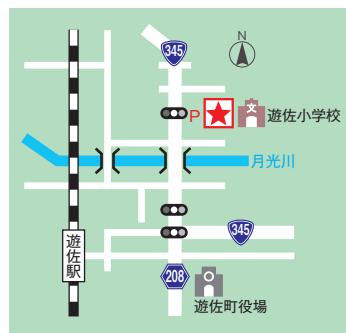
涌出箇所



アクセス

 (北緯39.022047°、東経139.910717°)

JR遊佐駅から左折して国道345号線に入り、600m程北進すると右手に遊佐小学校があり、小学校内の広い駐車場に駐車可能。安全管理のため学校事務室に一声かけてから、学校の中庭に回り、湧水とビオトープを見学することができる。





わだやの水

遊佐町吉出



〔管理者・保全団体〕 遊佐町

ポイント

遊佐町の中心部、月光川沿いの古民家の敷地内に「わだやの水」があり、自噴井戸の水量は豊富で1年を通して変わらずに湧いている。昭和24年築の古民家は和洋折衷のつくりで、遊佐町の「空き家再生地域おこしプロジェクト」の第1号として、リノベーションとDIYによって平成30年に古民家カフェ「わだや」として生まれ変わった。古民家ならではの落ち着いた雰囲気でも多くの人に愛されていたが、惜しまれながら令和7年に閉店。令和8年からは新しい団体による店舗運営が決まっている。

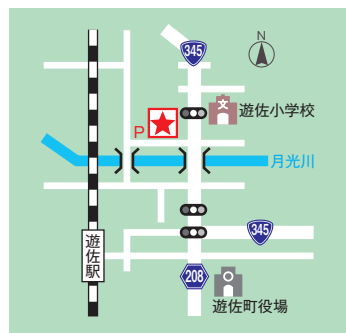


アクセス

 (北緯39.021265°、東経139.909052°)

遊佐町役場から北へ600m程進み、月光川に架かる赤い橋「月光橋」を渡ってすぐ左折する。その北西角に古民家があり、専用駐車場もある。

「わだやの水」は、古民家の庭の中にある。



環境省選定 名水百選・平成の名水百選

環境省では、「名水百選」（昭和の名水百選）、「平成の名水百選」として、あわせて200か所を選定しています。ここでは本県から選定された3か所を御紹介します。

【名水百選（環境省）】

がっさんさんろくゆうすいくん

月山山麓湧水群

西川町志津

Googleマップ



ポイント

「月山」の万年雪が地中に解け出し、天然のダム「ブナ」の原生林など豊富な自然に蓄えられながら、400年とも言われる年月をかけ、地表に湧き出している。水質は適度にミネラルを含み、簡易水道として利用されている。5月中旬から6月中上旬の、ブナの新緑と残雪のコントラストは是非見ていただきたい風景である。

【名水百選（環境省）】

おみがわ

小見川

東根市大字羽入

Googleマップ



ポイント

猛暑でも湧水の近くに行くといひんやりする。以前は10センチも掘ればすぐ水が湧き出した。戦前、井戸掘り業者が集まり、掘削時の「どっこいしょ」という掛け声がなまって「どんこ水」と呼ばれるようになったという。小見川の上流域は県の天然記念物に指定され、湧水地帯だけに生息し「巣づくり」をするめずらしい魚、トゲウオ科トミヨ属「カクレトミヨ」が生息している。

【平成の名水百選（環境省）】

たちやざわがわ

立谷沢川

庄内町清川

Googleマップ



ポイント

その昔、羽黒権現の御みたらし手洗として崇敬され、上流部には修験の秘所がある。出羽三山奥参りの表参道として賑わった立谷沢川流域は、山岳信仰や最上川舟運に彩られた森と水の回廊。山河の「屏風絵」をくぐり抜ければ、効能あらたかな湯宿と山紫水明の眺望が心身をほぐしてくれる。

関連情報

山形県には、多くの観光資源があります。「里の名水・やまがた百選」とともに訪れてみてはいかがでしょうか♪



県では、平成28年から8月11日が「山の日」として祝日に制定されたことを契機に、「やまがた百名山」を選定しています。

地域の宝である山に光を当て、健康増進とともに、山の魅力を認識し愛着を高め、その魅力を発信し、山岳観光の振興につなげていくことを目的としています。

森は豊かな水を育みます。山々を眺め四季を感じ、又は登山で木々の温もりを肌で感じてみてはいかがでしょうか♪



山形県山岳情報
ポータルサイト
「やまがた山」



<https://yamagatayama.com/>

「やまがた山」
Instagram



<https://www.instagram.com/yamagatayama/>



「私をそこに連れてってー やまがた景観物語 おすすめビューポイント」
として、県内の美しい自然景観や街なみなどを選定し紹介しています。

清らかな名水とともに、水資源を含む豊かな自然景観や文化をめぐる旅は
いかがでしょうか♪ビューポイントと一緒に名水をめぐってお楽しみ下さい。



<https://keikan.pref.yamagata.jp/>



「日本一の滝王国山形」によるこそ。全国に約2,500ある滝（落差5m以上）
のうち、山形県はその1割に近い230もの滝を有する、滝の数日本一の滝王国です。

リニューアルした県観光HP「やまがたへの旅」にて県内の滝を紹介しております。
なかには名水に選ばれた滝もありますのでお見逃しなく！日ごろの疲れを癒しに滝へ
出かけてみませんか？



<https://yamagatakanko.com/waterfalls/>

湧水の情報をお寄せください

県では地域で育まれてきた湧水を次世代に引き継ぐため、湧水の情報収集をしています。



情報提供の方法

- 1 左下の二次元コードから県ホームページを開く。
- 2 ホームページの **お問い合わせフォーム** をクリック。
- 3 [問い合わせ件名]に『湧水の情報提供』と入力。
- 4 [問い合わせ内容]に地域で育まれてきた湧水の情報をも具体的に入力。
- 5 その他、連絡先等を入力し、送信。

※ 情報提供の内容について、詳しくお聞きする場合があります。

※ 寄せられた情報は、県ホームページ等で紹介させていただく場合があります。

「里の名水・やまがた百選」の情報発信中です!!

県ホームページ

水大気YouTubeチャンネル



<https://www.pref.yamagata.jp/050014/kurashi/kankyo/mizu/meisui/meisui.html>



<https://www.youtube.com/channel/UCx16EQ5vC3MqRfzIKp5RRrw>



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

お問い合わせ：山形県 環境エネルギー部 水大気環境課

〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 TEL：023-630-2204